



# 台湾における対日世論調査

2010年3月

財団法人 交流協会

ニールセンに委託し、対日世論調査を実施したところ、結果は以下のとおり。

## 調査手法

調査方法:インターネットによるアンケート+コンピュータ補助システムによる電話アンケート(Web-CATI)

- インターネットアンケート:40才以下に限定。
- コンピュータシステムによるアンケート:40才以上に限定。

目標回答者: 20-80才の男性/女性。

サンプル数:合計 1018件

- 統計学上ではサンプル数が1,000の時、誤差は±3.10%以内に抑えられ、調査結果はメディア報道に際しての信頼性を満たしている。
- インターネットアンケート: 448
- コンピュータシステム電話アンケート: 570

研究地域:台湾全域

アンケート内容量: 10分間

調査日: 12/12~1/11

サンプリング方法: 人口に比例した性別、地域、と年齢別のサンプリング。

- 40才以下の回答者はニールセン社のYourVoice Panelによるランダムサンプリング。
- 40才以上の回答者は電話アンケートによるランダムサンプリング。

サンプル加重平均設定:

本研究は先に1018件のサンプリングを完成し、さらに台湾の人口分布を考慮し、サンプル加重平均設定をして、今回の調査を代表する母数を得た。

加重平均後のサンプル:

	Total	年齢				
		20-29才	30-39才	40-49才	50-64才	65-80才
実際	1018	221	227	227	233	110
加重平均 (‘000)	16,796	3,610	3,700	3,744	3,901	1,840

	Total	性別	
		男	女
実際	1018	510	508
加重平均 (‘000)	16,796	8,384	8,412

	Total	地域			
		北部	中部	南部	東部
実際	1018	429	255	284	50
加重平均 (‘000)	16,796	7,128	4,175	4,737	755

## 回答者の基本データ

	2009	2008		2009	2008
<b>性別</b>	%	%	<b>教育程度</b>	%	%
男性	50	50	中卒或はそれ以下	16	17
女性	50	50	高卒/職業学校卒	23	25
<b>年齢</b>			大学/専門学校/技術学院卒	50	50
20-29才	21	22	大学院或は以上	10	8
30-39才	22	22	<b>仕事状況</b>		
40-49才	22	22	正社員	53	57
50-64才	23	22	アルバイト	6	6
65-80才	11	11	主婦	15	14
<b>地域</b>			学生	6	6
北部	42	42	休業中/無職	9	7
中部	25	25	退職	11	9
南部	28	28	<b>家庭月間収入額</b>		
東部	5	5	NT\$24,999元或はそれ以下	10	9
<b>婚姻状況</b>			NT\$25,000元～49,999元	21	23
独身	32	31	NT\$50,000元～99,999元	33	33
既婚	66	67	NT\$100,000元～139,999元	13	13
離婚/別居	1	1	NT\$140,000元或は以上	9	9
寡婦/寡夫	0	1	回答拒否	1	2
			分からない	12	11

加重平均のサンプル数('000):訪問を受けた人全数(2009:16.796/2008:16.626)  
 実際のサンプル数:(2009:1.018/2008:1040)

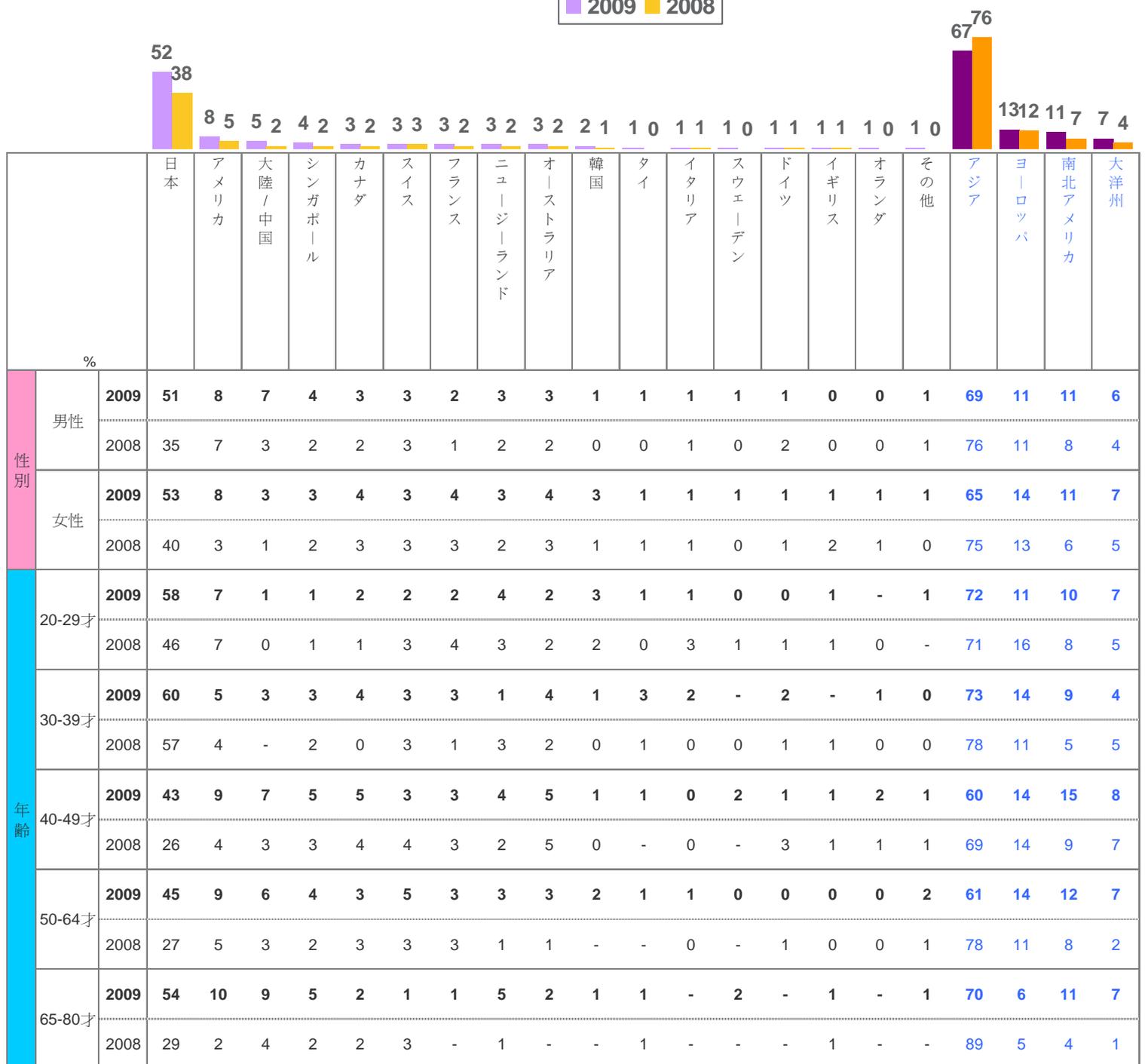
注:

1. 結果の表示は:パーセンテージ表示。
2. 表中の「-」は回答者はいないと意味する。「0」は回答者数は全体の1%未満と意味する。

Q1 台湾を除き、あなたの最も好きな国(地域)はどこですか？\*

(I)

2009 2008



\*2008年の調査において31%の人が一番好きな国を台湾と回答した。本ページの2008年の結果は(台湾と回答した人数を含む)アンケート調査対象者全体を母数として計算した。(台湾と回答した人数を除いた)そのほかの69%の回答者を母数にすると、一番好きな国は日本だと回答した人は54%をしめる。

なお、2008年の調査において高齢になるほど一番好きな国を台湾と回答する者が多く「65-80才」では52%が台湾と回答したため、2009年との数字の乖離が大きくなっている。

# Q1 台湾を除き、あなたの最も好きな国(地域)はどこですか？\*

(II)

■ 2009 ■ 2008

		日本	アメリカ	大陸/中国	シンガポール	カナダ	スイス	フランス	ニュージーランド	オーストラリア	韓国	タイ	イタリア	スウェーデン	ドイツ	イギリス	オランダ	その他	アジア	ヨーロッパ	南北アメリカ	大洋州										
%		52	38	8	5	5	2	4	2	3	2	3	3	2	3	2	2	1	0	1	1	1	0	1	0	67	76	13	12	11	7	4
地域	北部	2009	54	10	4	3	2	3	3	3	4	2	1	1	1	1	0	1	1	67	13	12	7									
		2008	37	6	2	2	3	3	2	2	2	0	1	1	0	2	0	1	1	74	13	9	4									
	中部	2009	51	7	4	4	4	2	4	2	4	2	2	-	0	1	2	1	0	68	13	10	6									
		2008	37	4	2	2	2	3	2	2	3	0	-	1	0	2	1	1	0	77	12	5	5									
	南部	2009	51	7	6	4	5	3	1	4	3	2	-	2	1	1	0	0	1	66	11	12	6									
		2008	40	4	2	2	2	2	2	1	2	1	0	0	0	0	3	-	0	78	11	7	3									
	東部	2009	37	4	12	6	6	4	2	8	2	-	7	-	-	-	-	1	4	65	11	10	10									
		2008	32	-	-	2	-	6	2	4	9	4	-	-	-	-	-	-	-	71	12	-	13									
	教育程度	中卒或はそれ以下	2009	49	11	7	5	1	2	1	4	2	3	1	-	1	-	1	-	-	67	5	11	7								
			2008	26	2	4	4	1	1	-	1	-	1	1	-	-	-	1	1	-	90	4	4	1								
高卒/職業学校卒		2009	46	7	5	6	5	3	2	2	4	3	2	0	1	1	0	2	1	67	12	12	6									
		2008	34	4	3	2	2	4	1	2	3	1	0	0	0	1	1	-	1	77	9	6	5									
大学/専門学校/技術学院卒		2009	55	7	5	2	4	4	3	4	3	2	1	1	1	1	1	0	1	67	14	10	7									
		2008	44	5	1	2	3	3	4	2	3	1	0	1	0	2	1	1	0	72	15	8	5									
大学院或は以上		2009	53	11	3	2	4	1	4	2	4	-	3	4	-	2	-	1	1	64	16	15	5									
		2008	40	13	1	-	-	3	2	1	2	-	-	1	1	4	3	1	1	65	19	13	3									

\*2008年の調査において31%の人が一番好きな国を台湾と回答した。本ページの2008年の結果は(台湾と回答した人数を含む)アンケート調査対象者全体を母数として計算した。(台湾と回答した人数を除いた)そのほかの69%の回答者を母数にすると、一番好きな国は日本だと回答した人は54%をしめる。

なお、2008年の調査において高年齢になるほど一番好きな国を台湾と回答する者が多く「65-80才」では52%が台湾と回答したため、2009年との数字の乖離が大きくなっている。

Q2: 今後台湾が最も親しくすべき国(地域)はどこですか?

(I)



		%														
		大陸 / 中国	日本	アメリカ	シンガポール	韓国	インド	スイス	ドイツ	オーストラリア	その他	アジア	南北アメリカ	ヨーロッパ	大洋州	
性別	男性	2009	35	32	16	2	1	1	1	1	1	74	16	4	1	
		2008	37	30	22	3	0	-	0	1	1	0	71	22	3	1
	女性	2009	30	31	17	4	1	1	0	1	1	67	17	3	1	
		2008	31	33	19	2	1	0	0	0	0	1	69	19	2	1
年齢	20-29才	2009	28	40	15	3	1	1	-	1	0	79	16	3	1	
		2008	33	38	18	4	1	-	-	0	1	0	77	18	2	1
	30-39才	2009	41	33	13	2	1	0	-	1	2	0	78	14	4	2
		2008	39	36	15	2	0	1	0	-	-	0	81	15	2	-
	40-49才	2009	31	26	20	3	0	1	0	1	2	0	64	21	3	2
		2008	32	24	23	4	1	-	1	0	1	1	63	24	4	2
	50-64才	2009	36	22	18	2	2	-	1	0	1	2	63	18	5	1
		2008	32	29	24	1	-	-	-	1	0	0	63	25	3	1
	65-80才	2009	19	39	14	6	1	-	1	-	-	-	67	15	3	-
		2008	35	28	20	2	-	-	-	-	1	-	65	20	1	1

Q2: 今後台湾が最も親しくすべき国(地域)はどこですか?

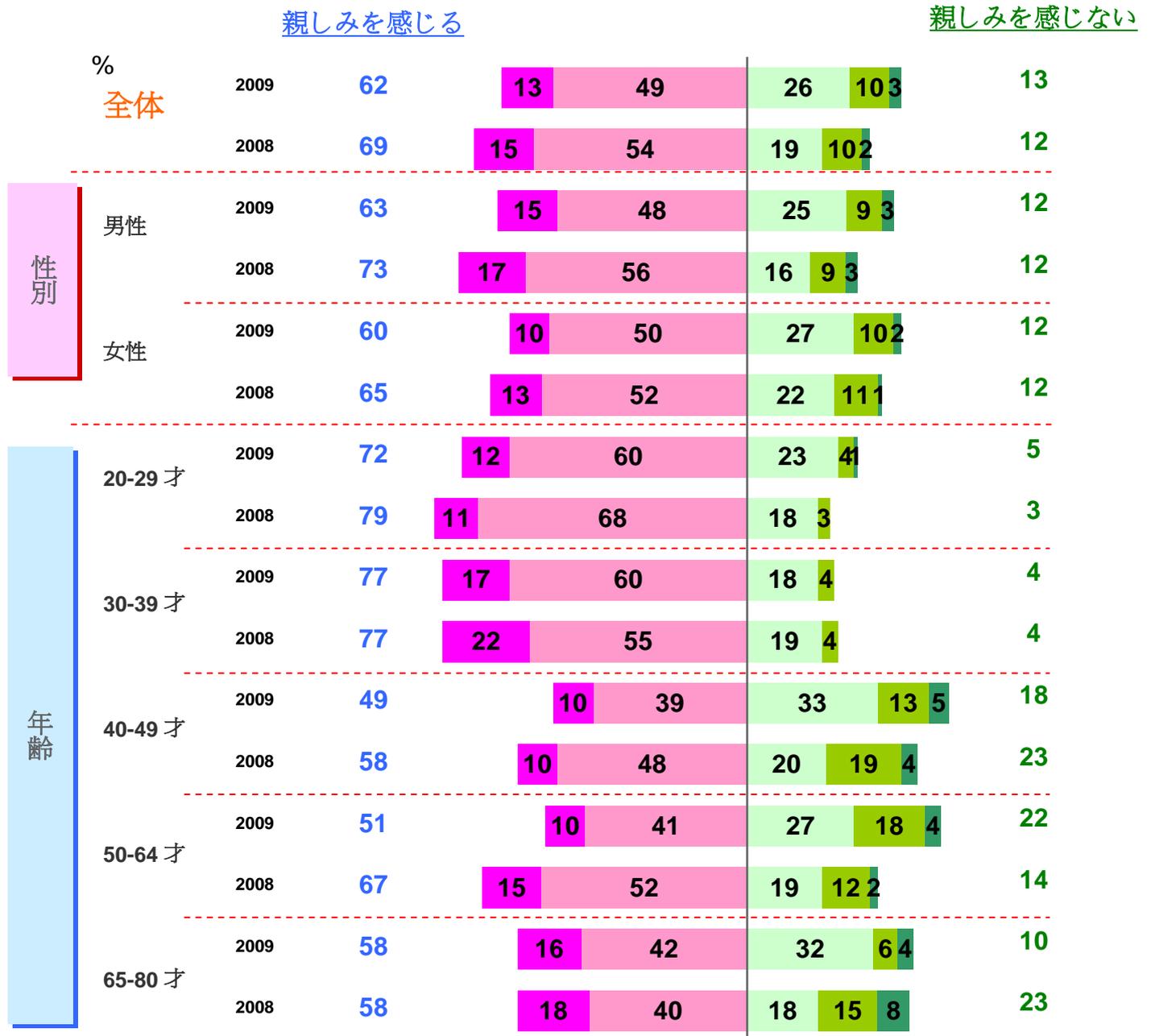
(II)

2009 2008

		%											7070				
		大陸 / 中国	日本	アメリカ	シンガポール	韓国	インド	スイス	ドイツ	オーストラリア	その他	アジア	南北アメリカ	ヨーロッパ	大洋州		
地域	北部	2009	32	32	15	3	1	1	1	1	2	0	71	16	4	2	
		2008	36	30	20	2	0	0	0	0	0	0	71	20	3	1	
	中部	2009	32	30	18	3	1	-	0	-	0	1	68	19	4	0	
		2008	35	31	21	2	1	-	0	1	0	0	70	21	3	1	
	南部	2009	32	32	17	4	1	-	0	1	1	1	71	18	4	1	
		2008	31	34	19	3	0	-	0	-	1	1	70	19	3	1	
	東部	2009	46	21	14	1	-	-	-	1	2	-	73	14	3	4	
		2008	26	27	23	5	2	2	-	-	2	-	62	25	-	6	
	教育程度	中卒或はそれ以下	2009	22	30	17	5	1	-	1	-	2	1	62	18	3	2
			2008	26	27	25	3	-	-	-	-	-	1	55	26	1	1
		高卒/職業学校卒	2009	26	30	22	2	1	0	0	0	1	1	63	22	1	1
			2008	32	25	25	2	1	1	0	0	1	0	62	25	3	2
大学/専門学校/技術学院卒		2009	37	33	13	3	1	1	1	1	1	1	76	14	5	1	
		2008	37	36	16	2	1	-	0	0	0	0	78	16	3	1	
大学院或は以上		2009	43	24	16	2	1	2	-	1	2	-	75	16	4	2	
		2008	36	34	18	6	-	-	1	1	1	1	76	18	3	1	

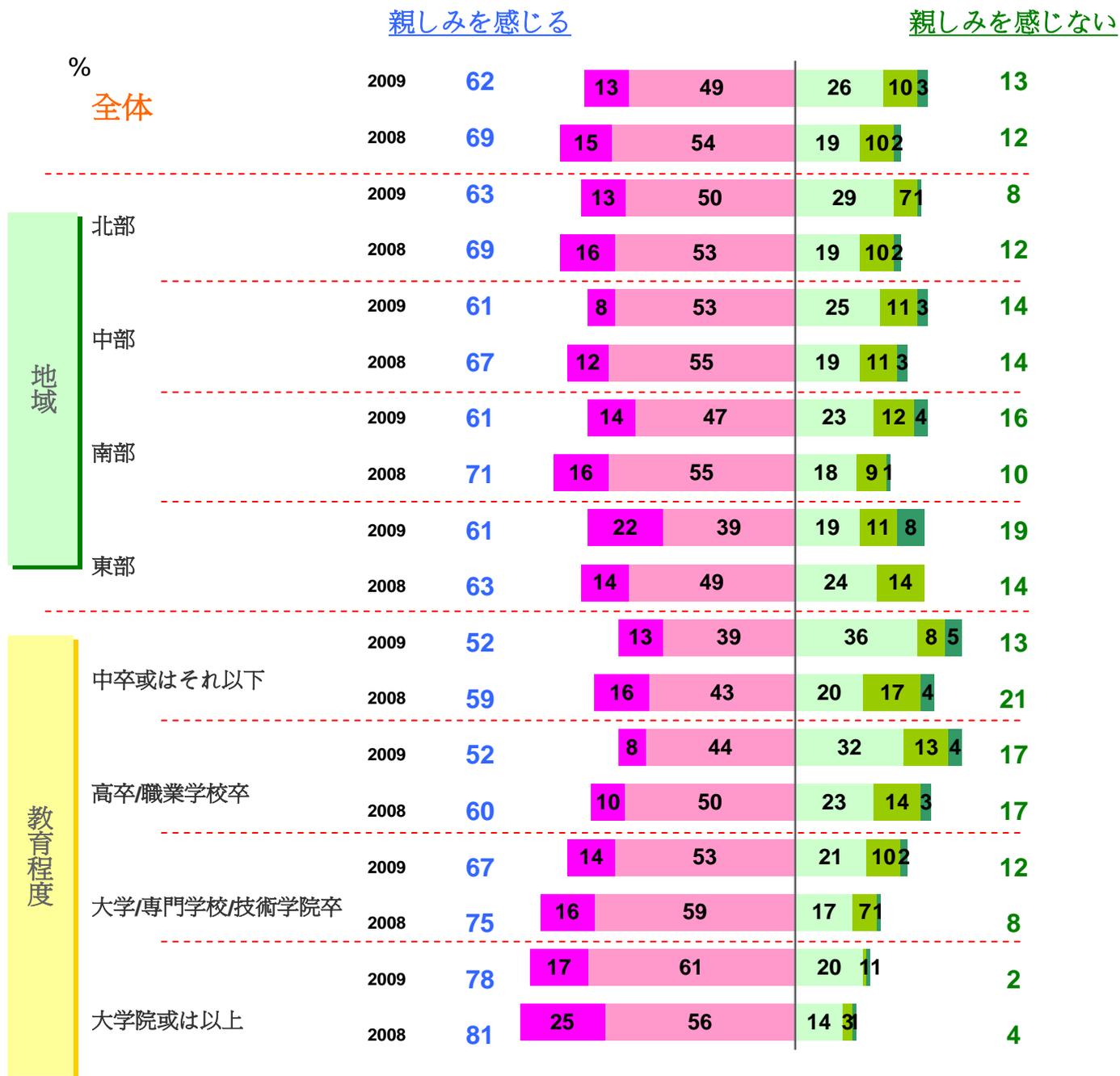
Q3: 日本に親しみを感じますか？

(I)



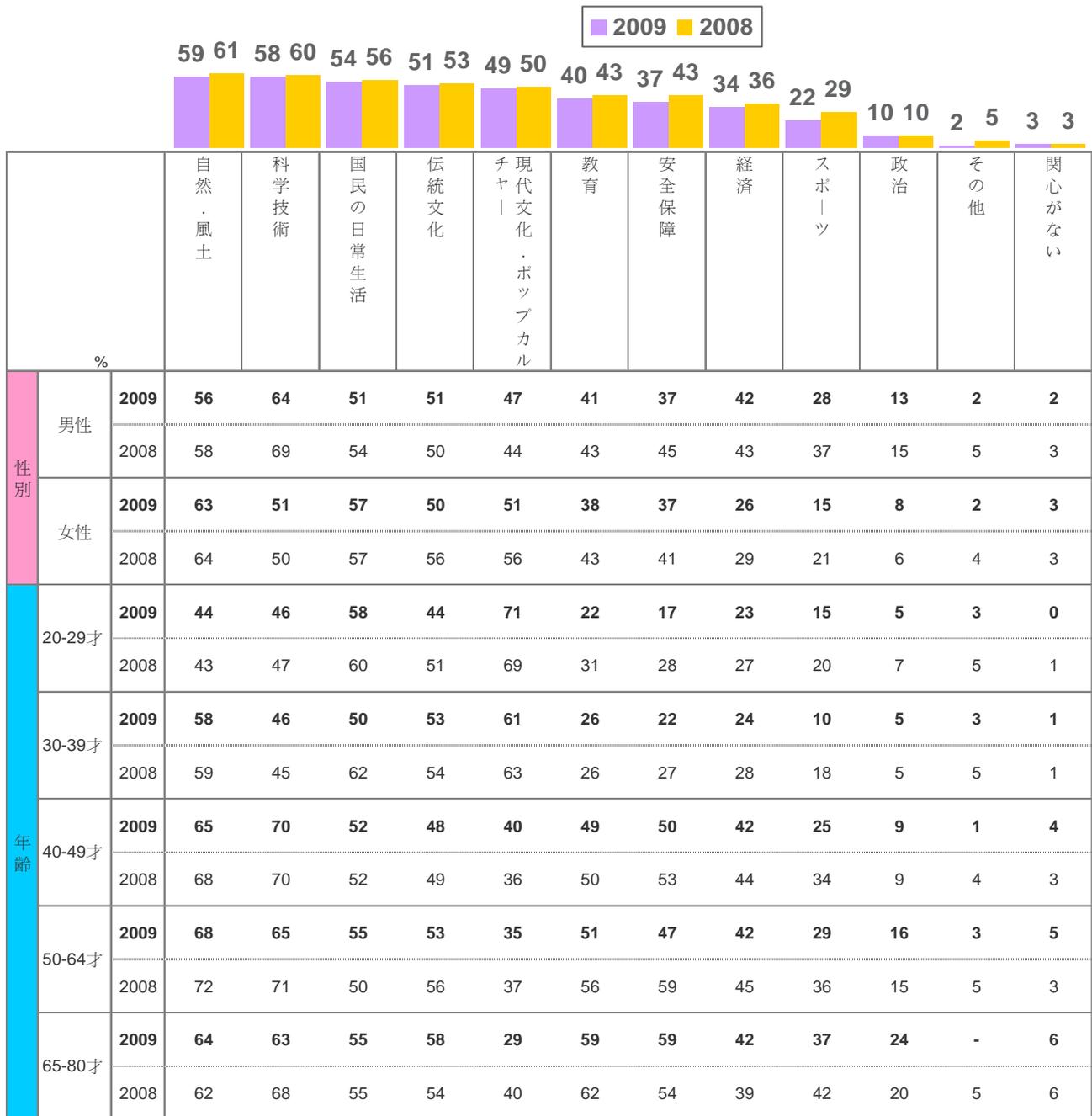
Q3: 日本に親しみを感じますか？

(II)



**Q4: 日本のどの分野に関心がありますか? (複数回答可)**

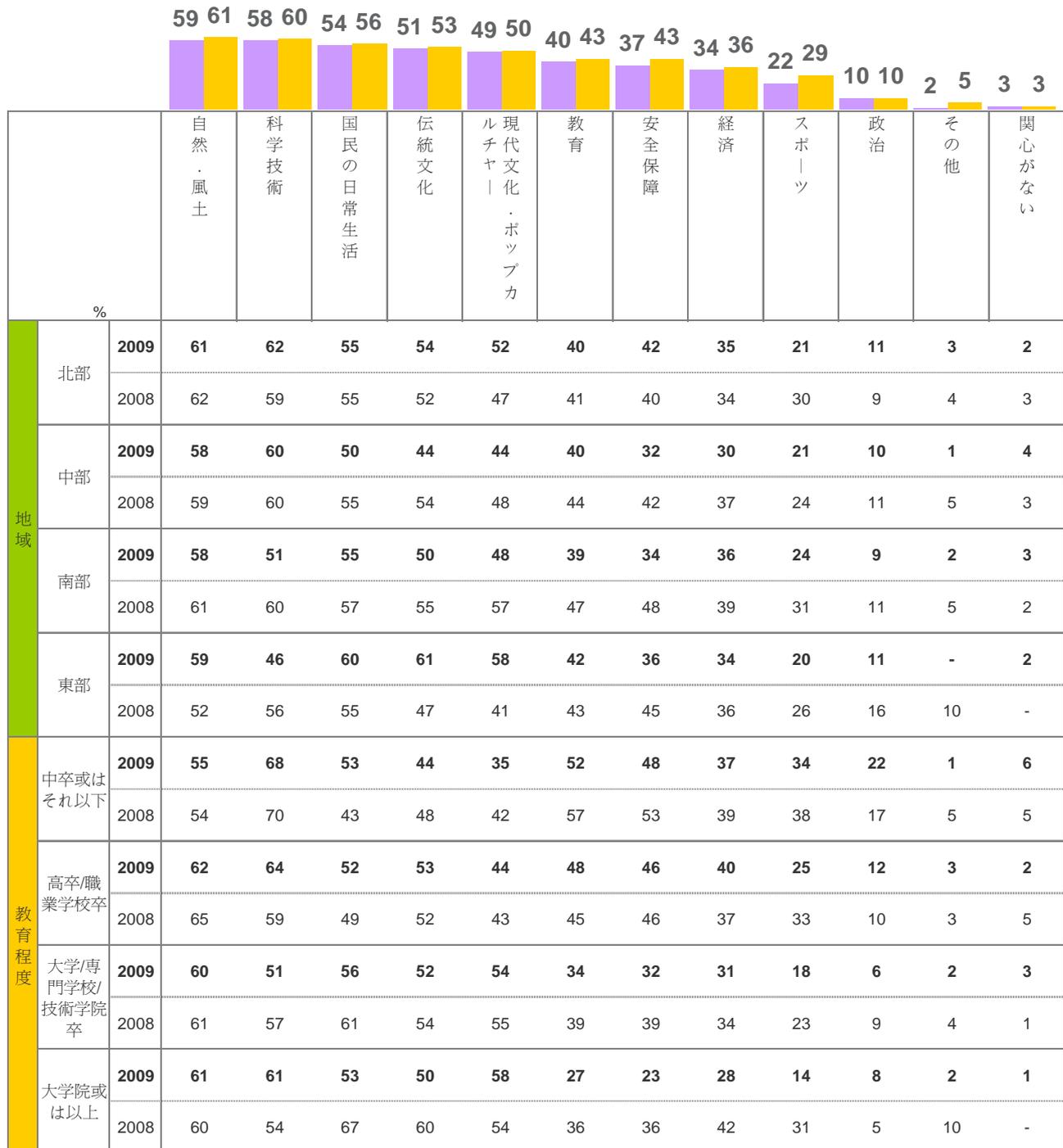
(I)



Q4: 日本のどの分野に関心がありますか? (複数回答可)

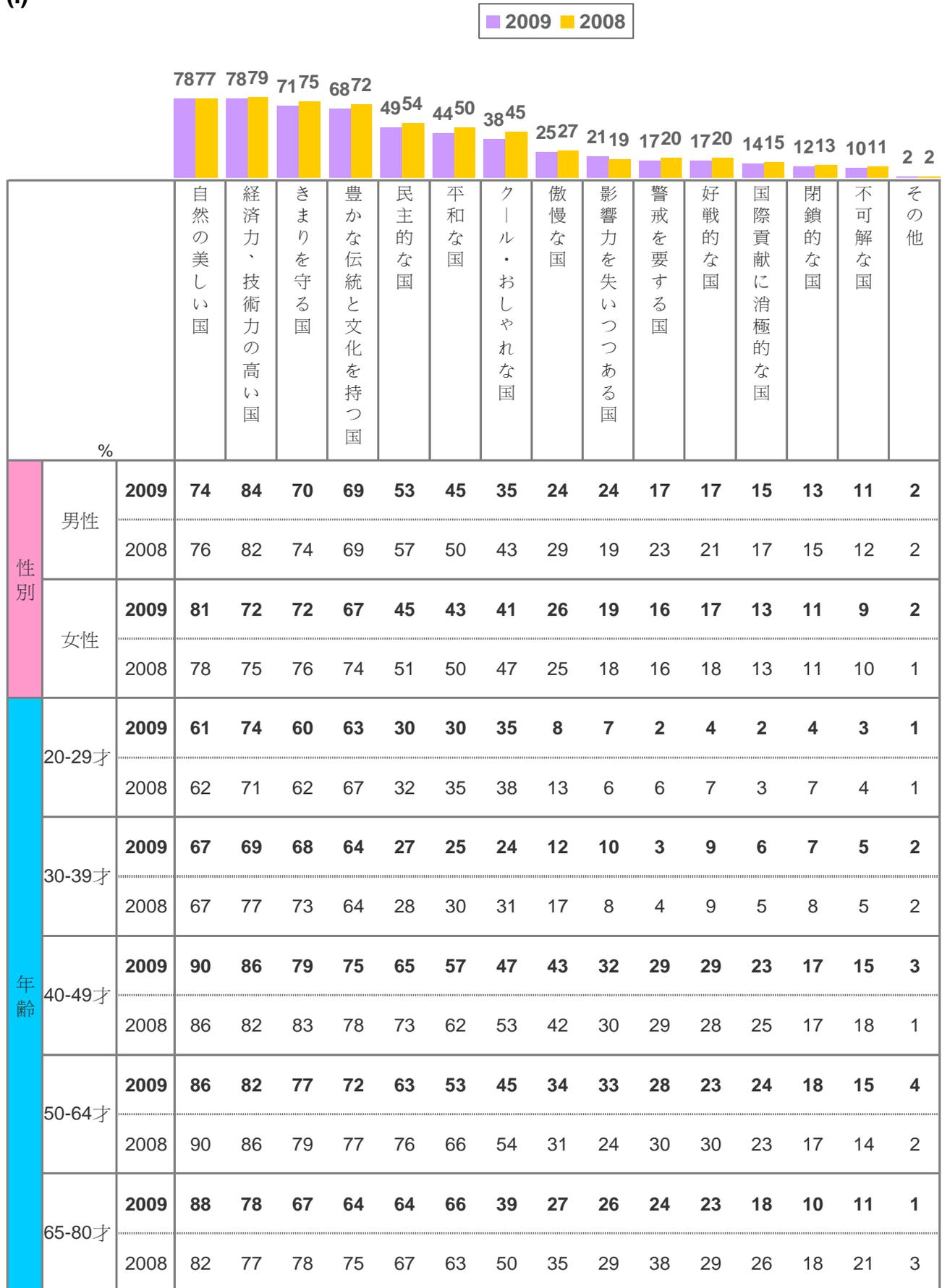
(II)

■ 2009 ■ 2008



Q5: 日本に対しどのようなイメージを持っていますか? (複数回答可)

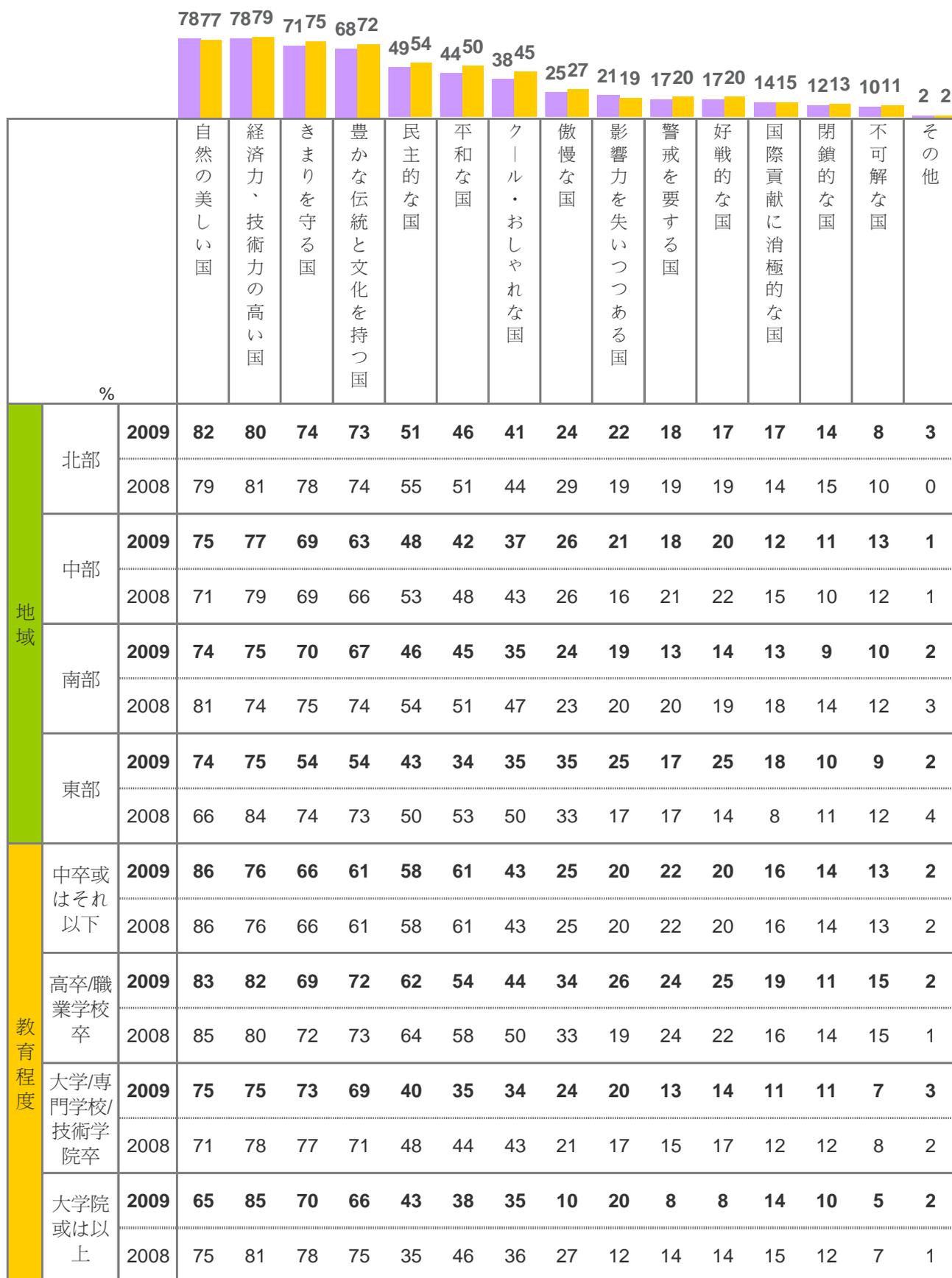
(I)



Q5: 日本に対しどのようなイメージを持っていますか? (複数回答可)

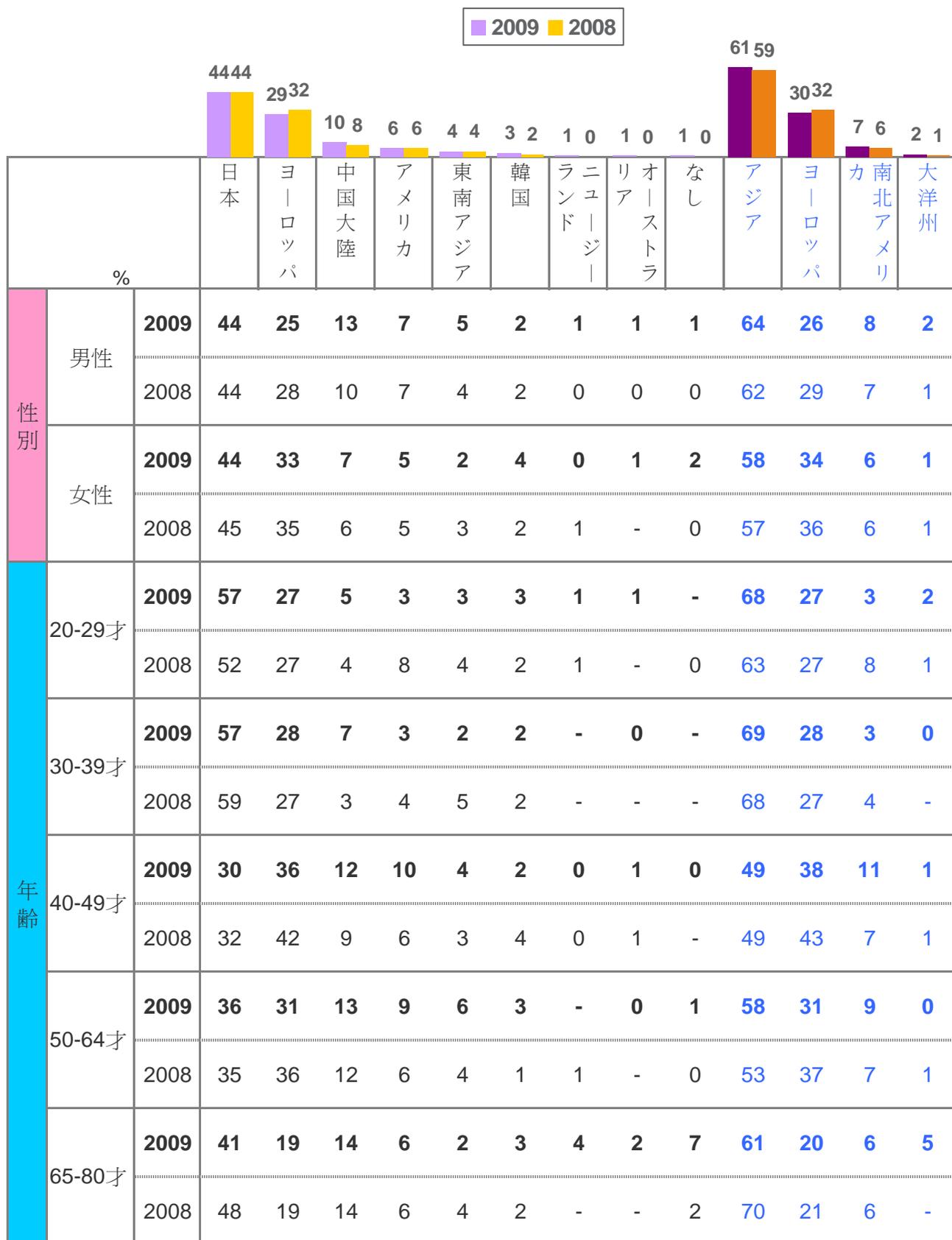
(II)

■ 2009 ■ 2008



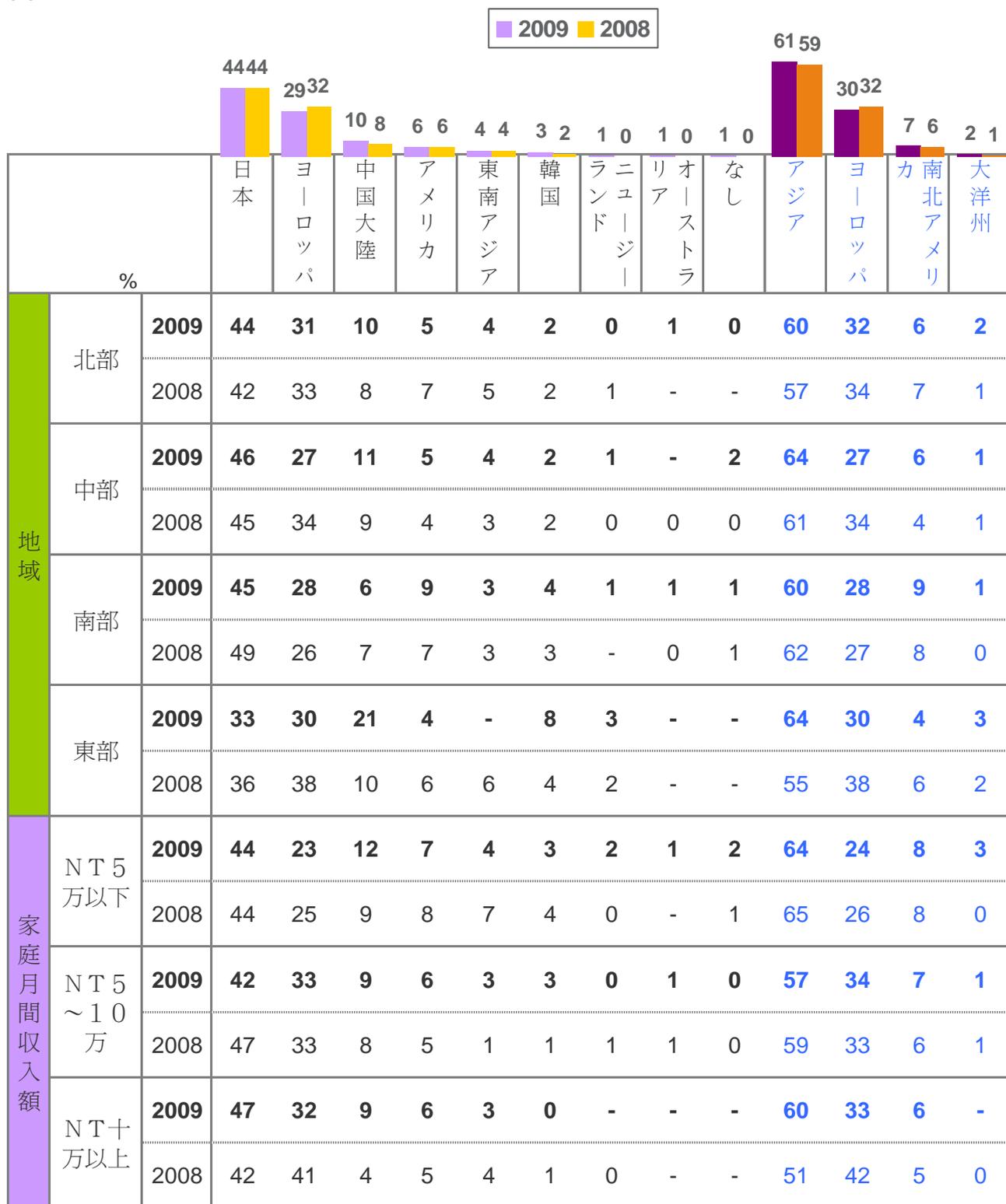
Q6: 旅行するとした場合、どこへ行きたいですか？

(I)



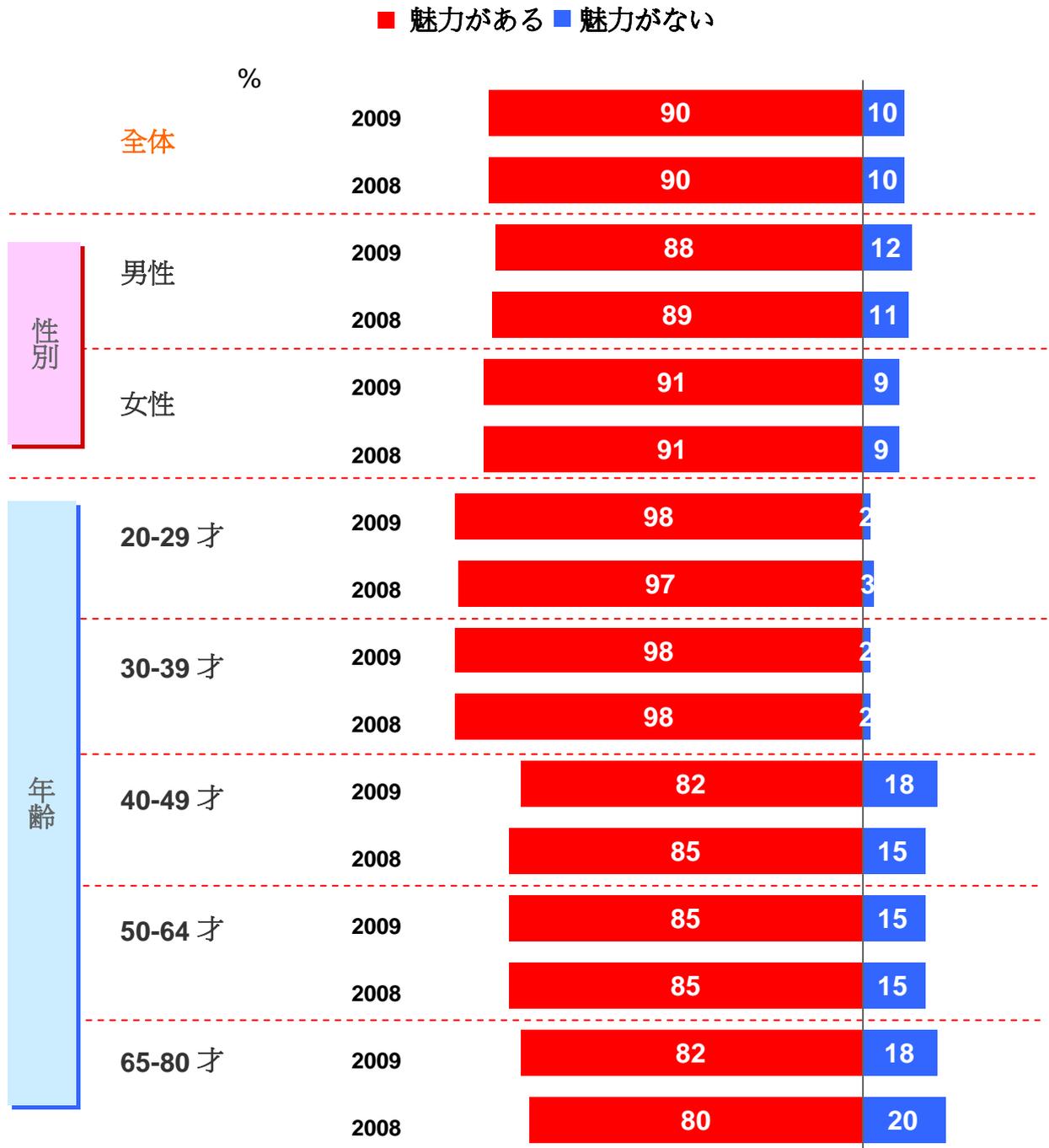
Q6: 旅行するとした場合、どこへ行きたいですか？

(II)



Q7: 日本に旅行したいと考えますか?

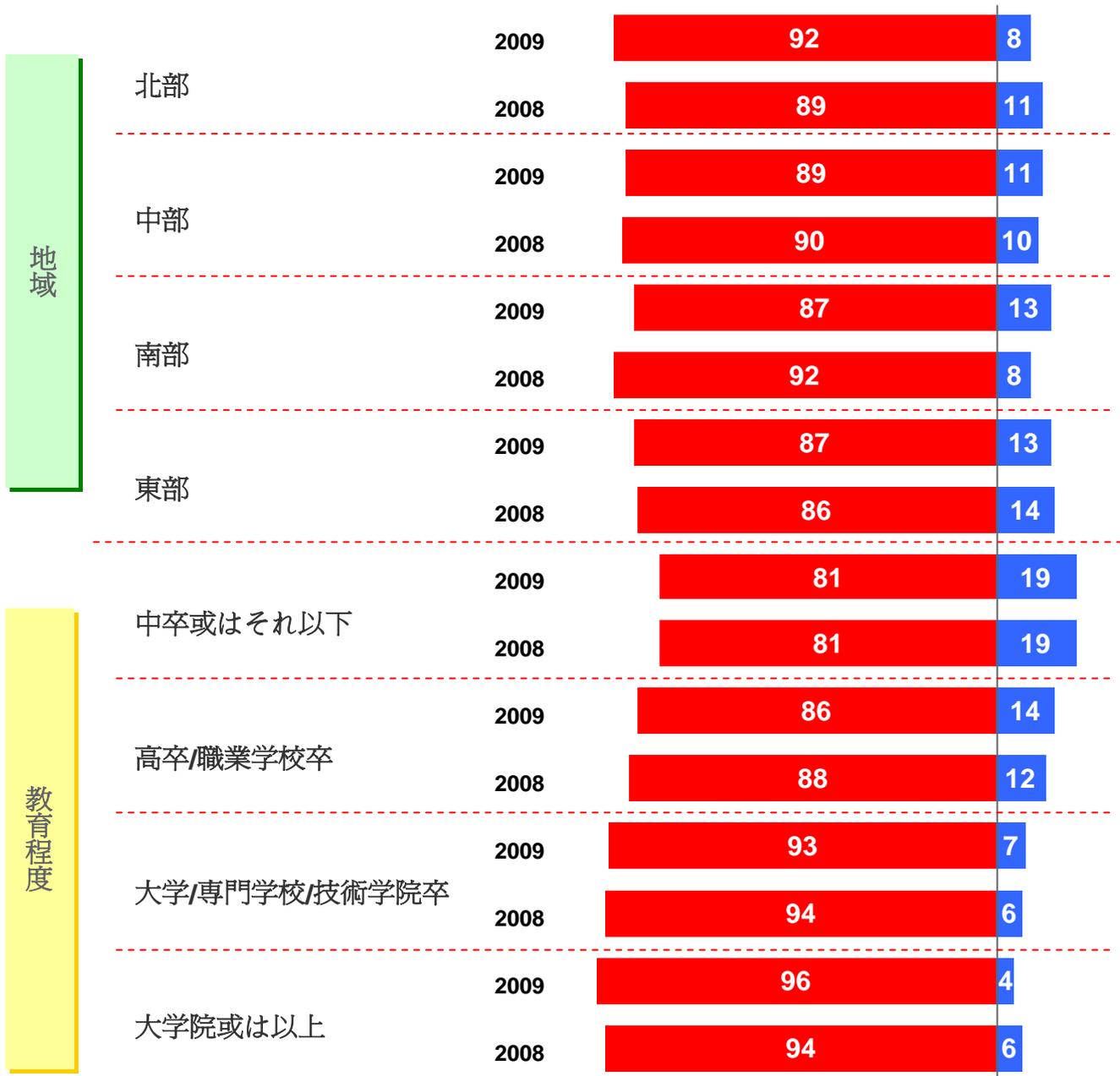
(I)



Q7: 日本に旅行したいと考えますか?

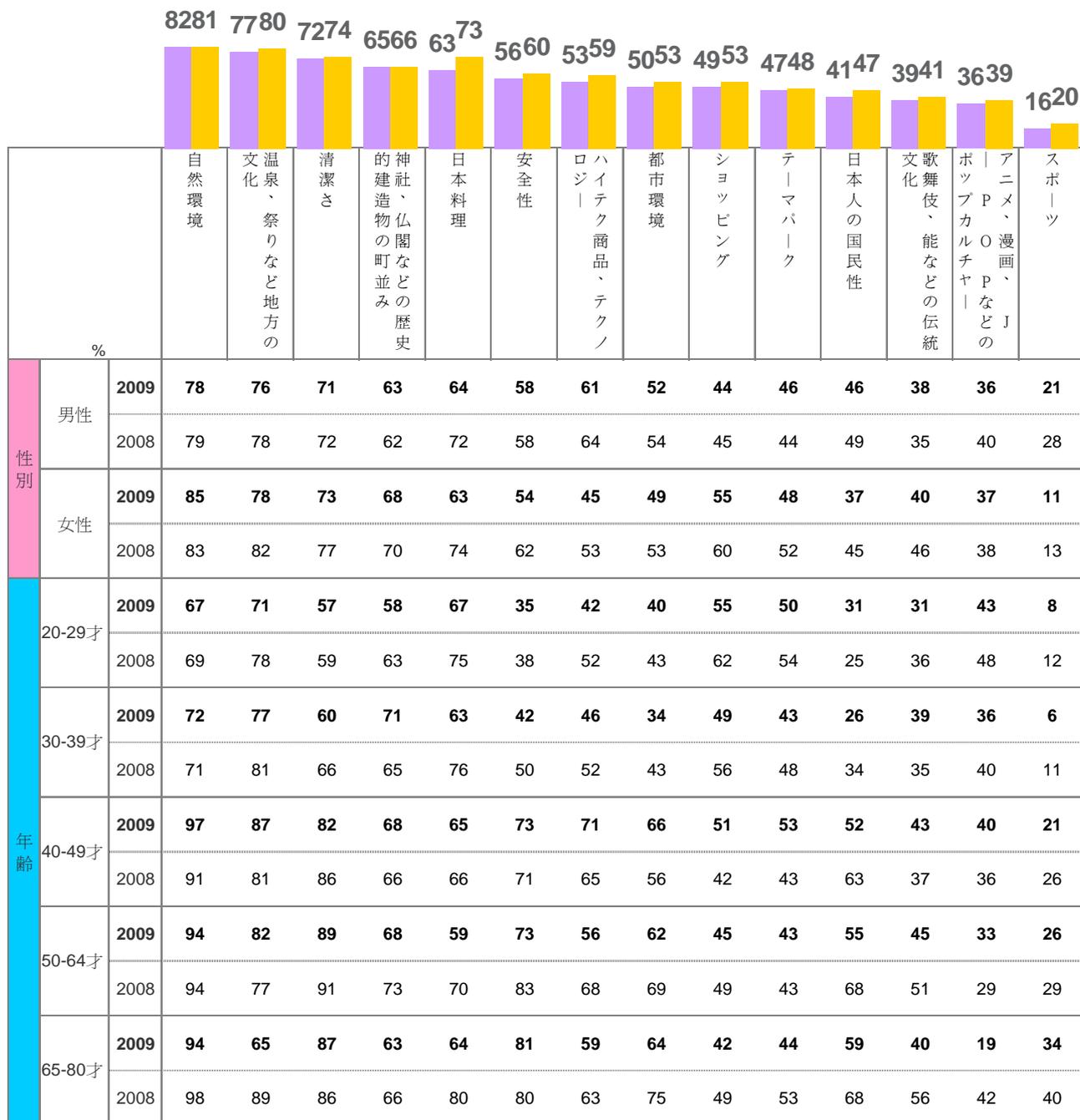
(II)

■ 魅力がある ■ 魅力がない



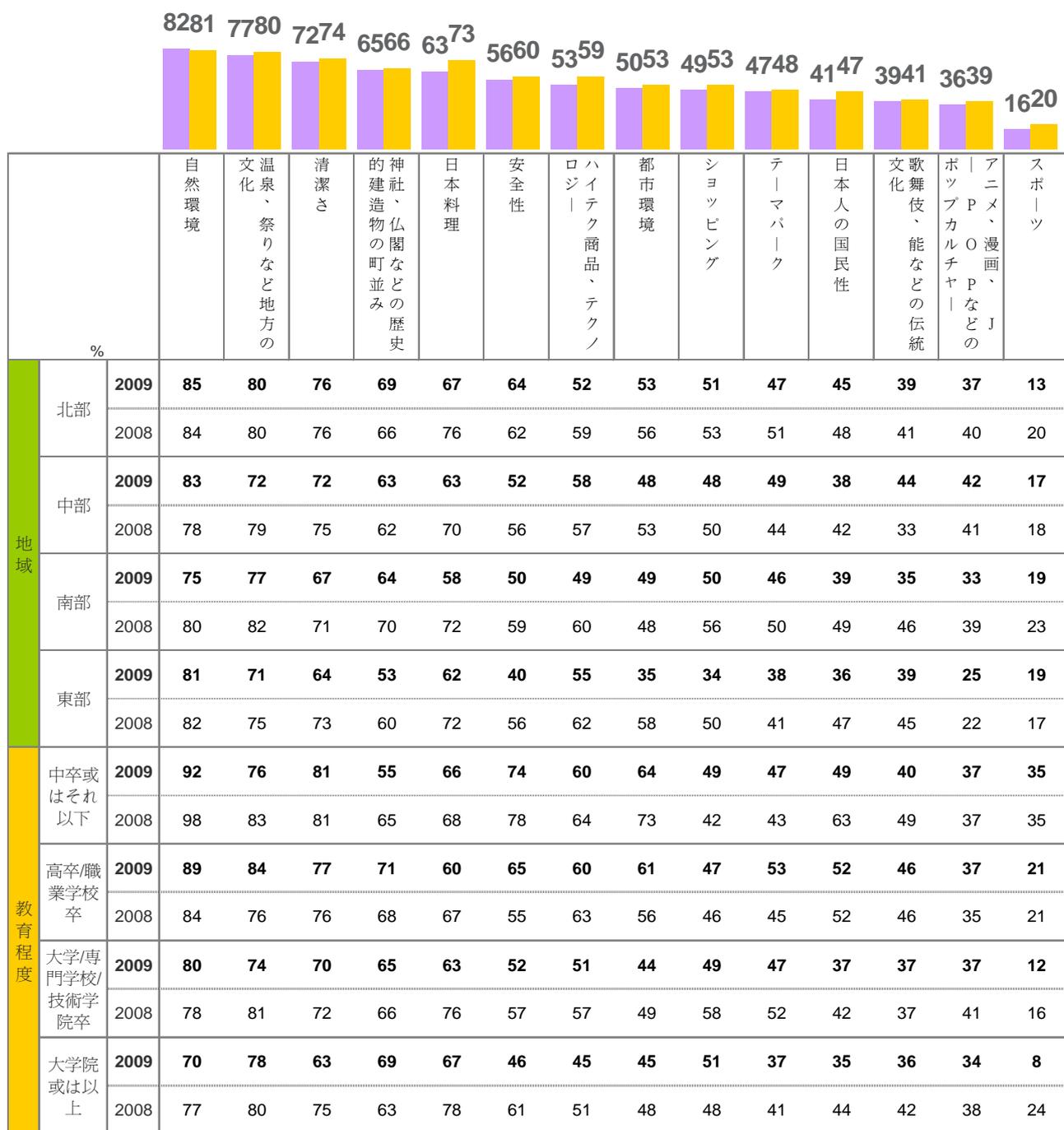
Q8: 日本のどこに魅力を感じますか? (Q7 で”魅力がある”と回答した人のみ回答)(複数回答可)

(I)



Q8: 日本のどこに魅力を感じますか? (Q7 で”魅力がある”と回答した人のみ回答)(複数回答可)

(II)



Q9: あなたは日本に関する情報をどこから得ていますか?

(I)



		%	テレビ	インターネット	新聞、雑誌	自分の訪日経験	家庭	台湾の友人、知人	書籍	映画	日本の友人、知人	ビデオ	学校での教育	その他	
性別	男性	2009	40	15	13	10	6	5	2	2	2	2	2	0	
		2008	39	14	14	11	5	5	2	2	3	2	2	0	
	女性	2009	43	13	10	14	6	6	3	1	2	1	0	1	
		2008	46	9	11	10	7	6	4	3	2	1	1	0	
年齢	20-29才	2009	38	26	11	7	3	6	1	3	1	1	1	-	
		2008	47	19	5	6	2	5	3	5	2	4	1	0	
	30-39才	2009	47	21	7	10	3	4	3	2	1	2	0	0	
		2008	41	18	10	15	3	5	2	2	2	1	0	-	
	40-49才	2009	45	10	13	16	4	4	4	1	1	0	-	-	
		2008	44	9	18	8	7	3	3	1	1	1	1	0	
	50-64才	2009	39	6	17	13	11	5	3	0	2	2	2	0	
		2008	40	5	16	11	10	7	4	1	3	1	1	-	
	65-80才	2009	35	-	9	17	15	10	2	1	5	-	3	3	
		2008	37	1	13	14	7	9	3	3	4	2	5	2	
	地域	北部	2009	40	13	11	15	5	6	3	2	2	2	2	-
			2008	40	12	11	13	5	6	3	2	3	2	1	0
中部		2009	37	16	13	9	10	5	3	2	2	1	0	1	
		2008	43	14	11	9	6	6	3	4	2	0	2	-	
南部		2009	47	14	13	11	4	4	2	1	2	0	1	1	
		2008	46	9	16	8	6	4	3	1	2	3	1	1	
東部		2009	48	16	10	9	10	2	4	-	-	-	-	2	
		2008	41	9	14	10	8	8	3	2	-	2	2	-	

Q9: あなたは日本に関する情報をどこから得ていますか?

(II)

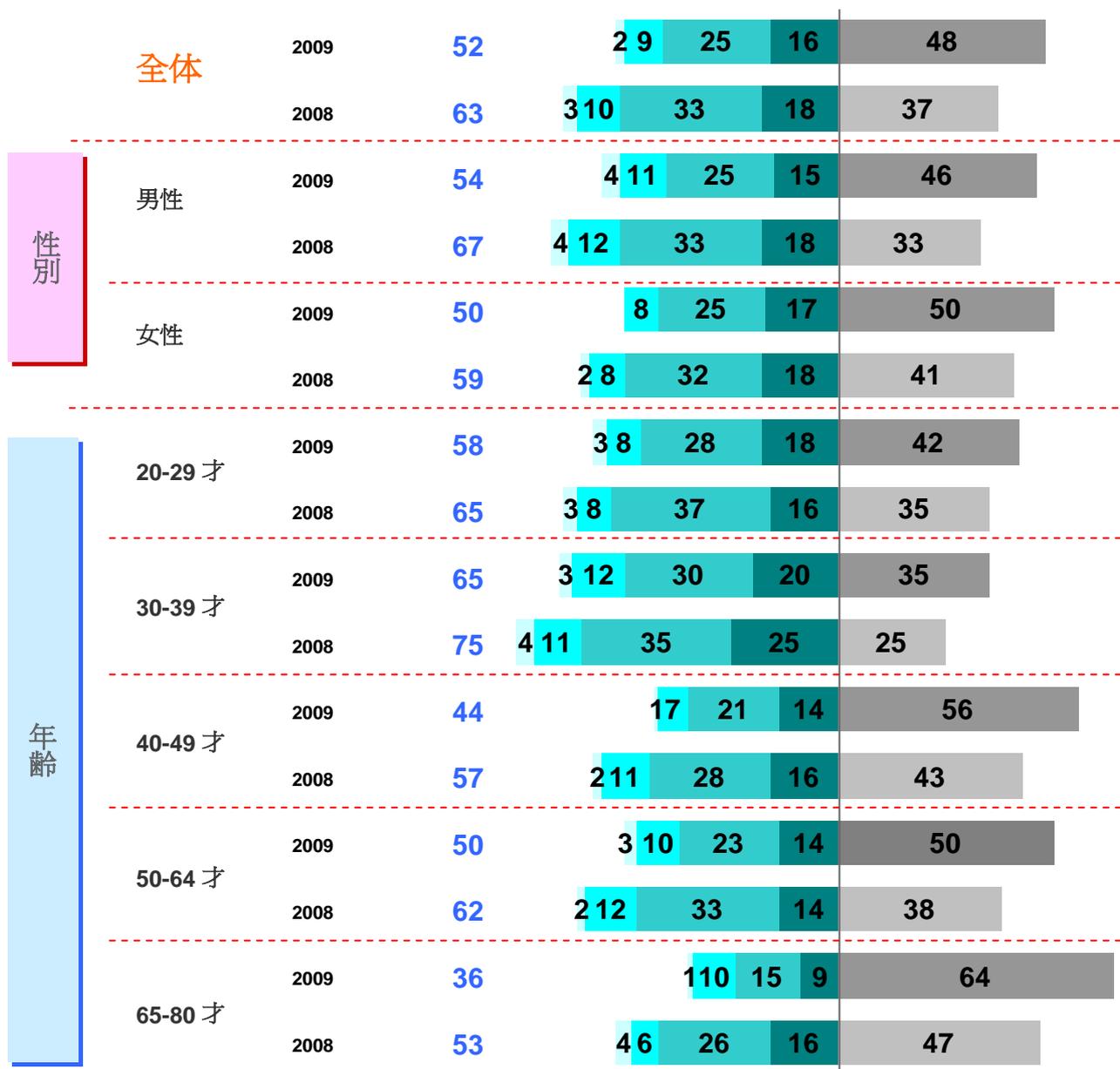
■ 2009 ■ 2008

			41	43	14	12	12	13	12	11	6	6	5	5	3	3	2	2	2	2	1	2	1	1	1	0
		%	テレビ	インターネット	新聞、雑誌	自分の訪日経験	家庭	台湾の友人、知人	書籍	映画	日本の友人、知人	ビデオ	学校での教育	その他												
教育程度	中卒或はそれ以下	2009	47	2	6	12	13	9	1	1	2	2	2	3												
		2008	43	3	7	11	11	10	3	2	3	2	4	1												
	高卒/職業学校卒	2009	48	8	14	10	7	5	2	1	3	0	2	-												
		2008	47	7	18	7	8	4	2	1	2	1	2	1												
	大学/専門学校/技術学院卒	2009	38	19	12	13	4	4	3	2	2	1	1	-												
		2008	41	15	13	12	4	4	3	2	2	2	0	0												
大学院或は以上	2009	34	21	14	14	5	5	3	2	-	2	-	1													
	2008	38	20	6	13	2	8	4	2	1	5	1	-													
仕事状況	在職中	2009	42	18	12	12	5	4	2	2	1	1	1	1												
		2008	41	15	13	11	5	5	2	2	2	2	1	0												
	主婦	2009	50	4	10	13	9	6	2	2	2	-	1	-												
		2008	51	3	11	11	9	7	5	1	2	1	1	-												
	学生	2009	38	25	5	8	2	10	3	2	2	2	3	-												
		2008	41	23	8	5	2	3	5	6	2	3	-	-												
退職	2009	25	3	18	17	14	8	5	-	5	1	3	1													
	2008	36	2	19	10	7	7	4	2	4	-	5	1													

Q10: 日台交流における日本側の窓口機関である（財）交流協会を知っていますか？  
(I)

- よく知っている
- 知っている
- 聞いたことはあるがあまり知らない
- よく知らない
- 聞いたことはない

聞いたことはある

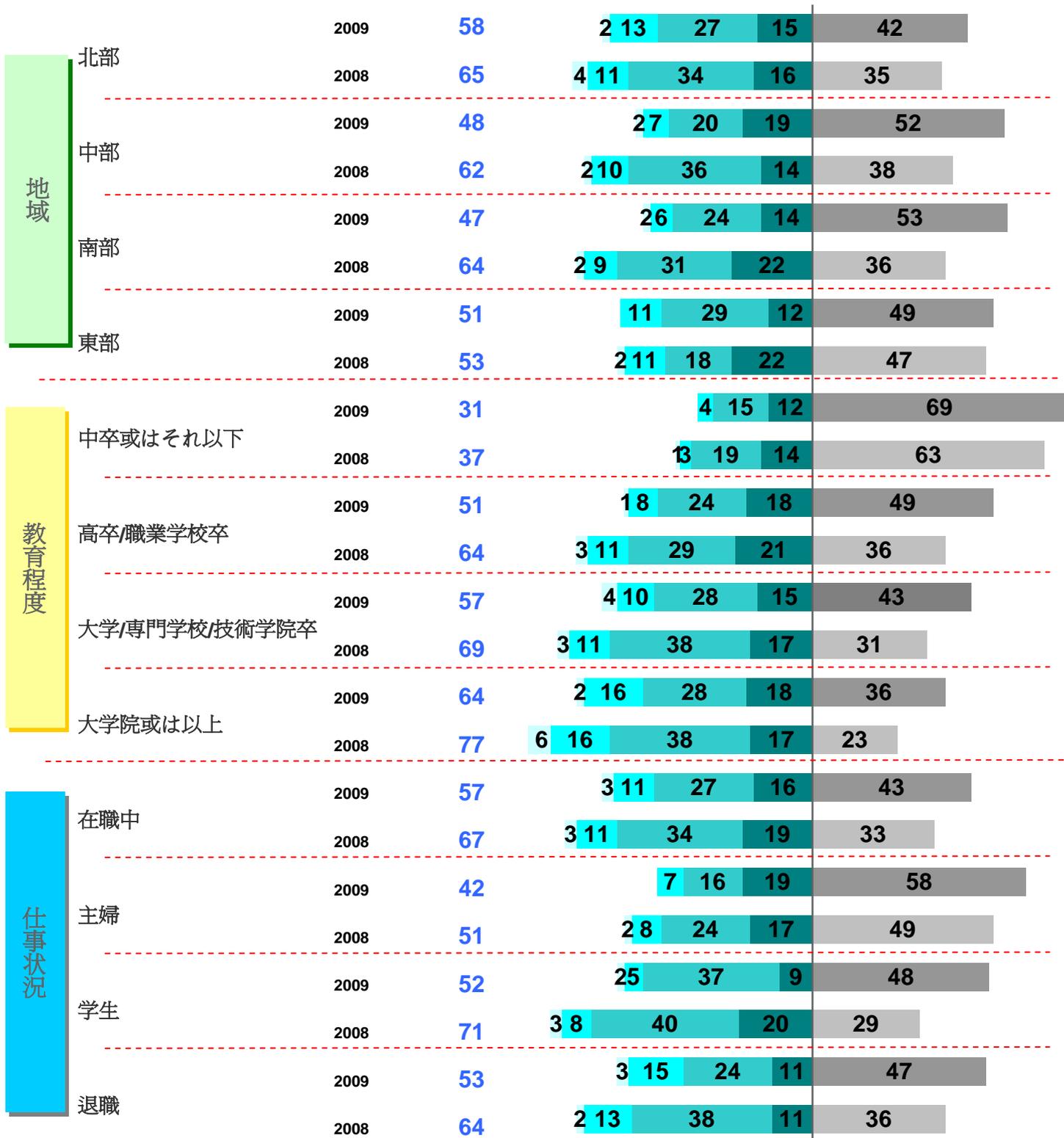


Q10: 日台交流における日本側の窓口機関である（財）交流協会を知っていますか？

(II)

よく知っている 知っている  
 % 聞いたことはあるがあまり知らない よく知らない 聞いたことはない

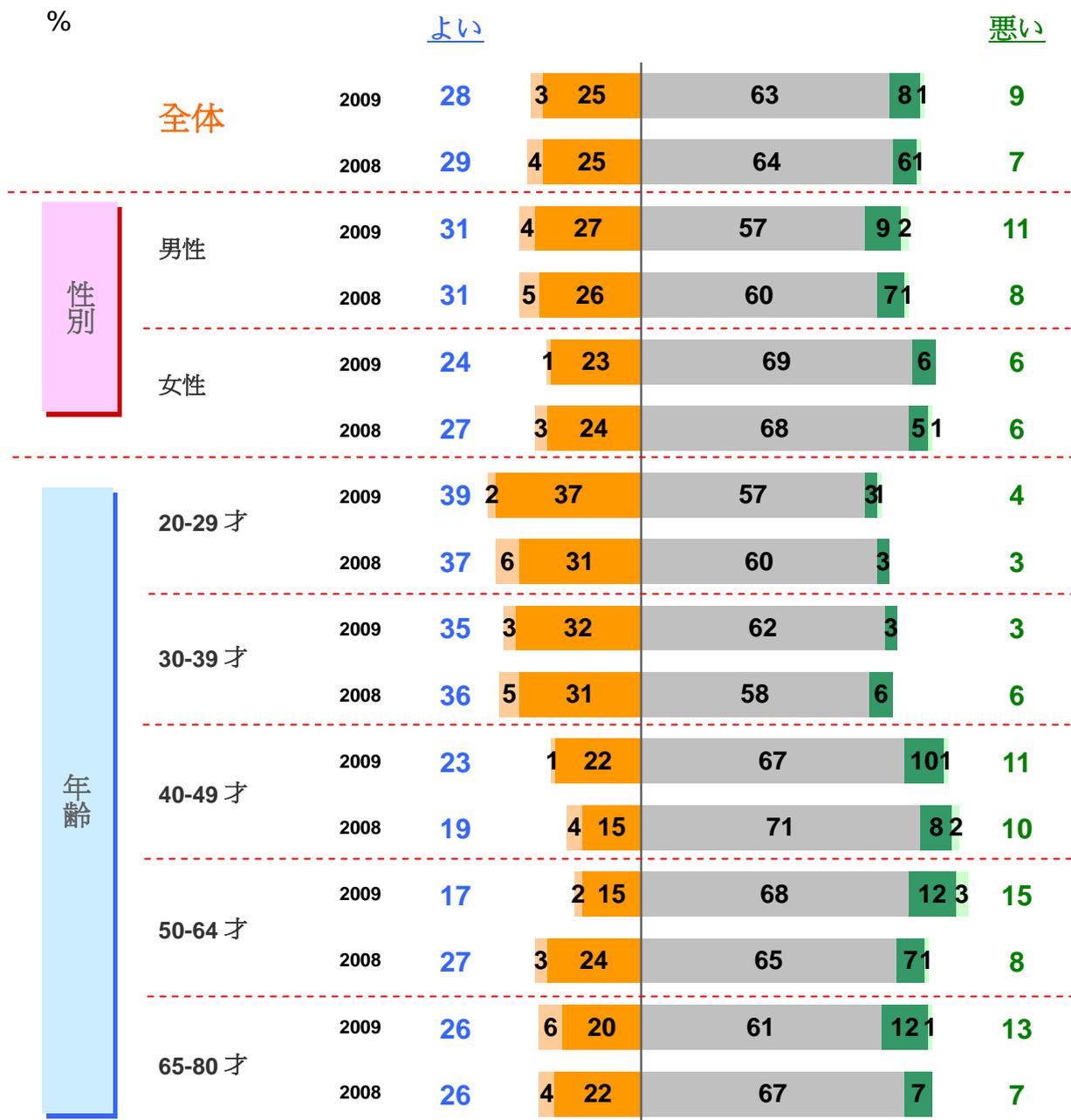
聞いたことはある



Q11: 現在の日台関係をどう思いますか?

(I)

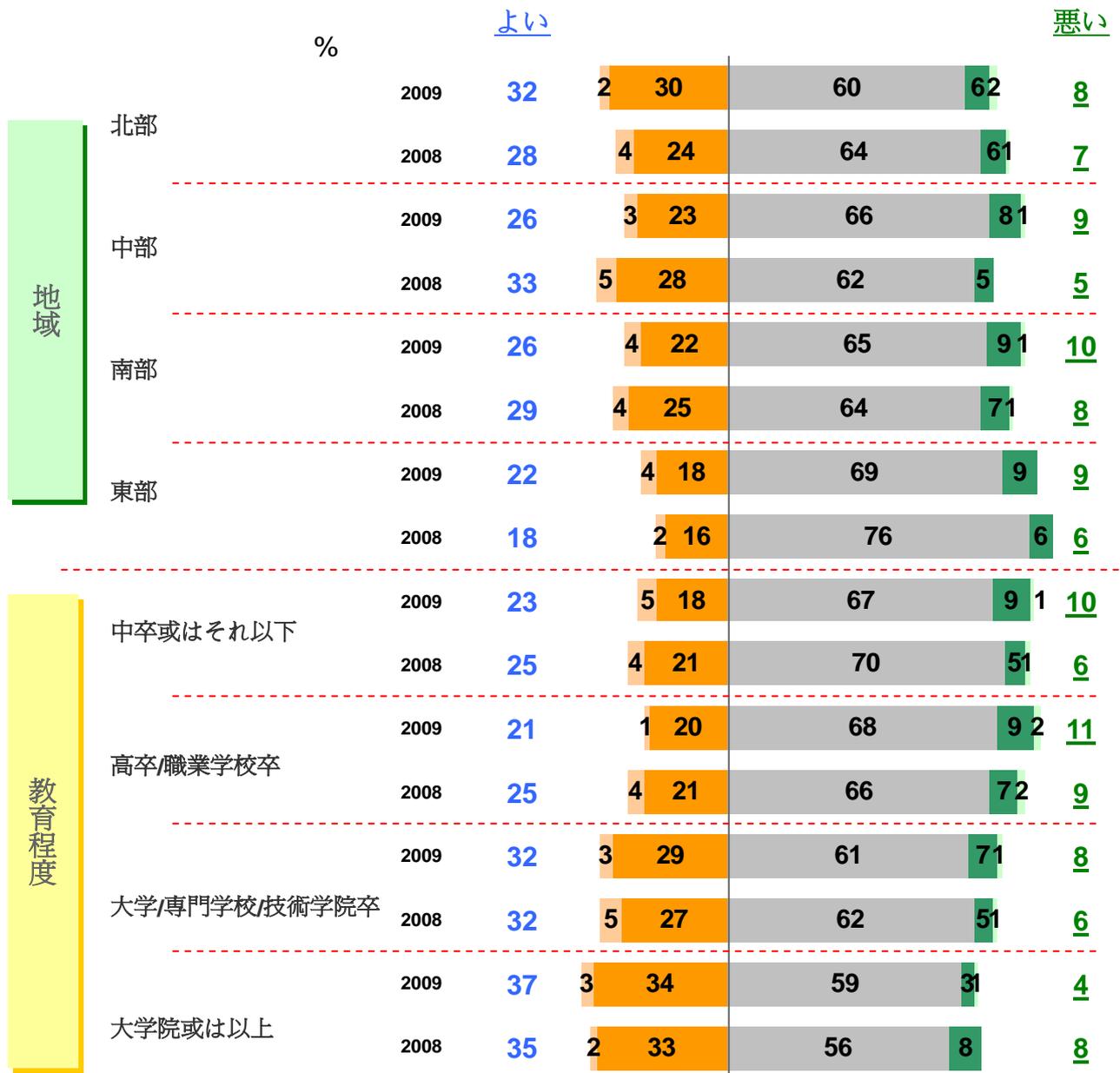
■ 大変よい 
 ■ よい 
 ■ どちらとも言えない 
 ■ 悪い 
 ■ 大変悪い



Q11: 現在の日台関係をどう思いますか?

(II)

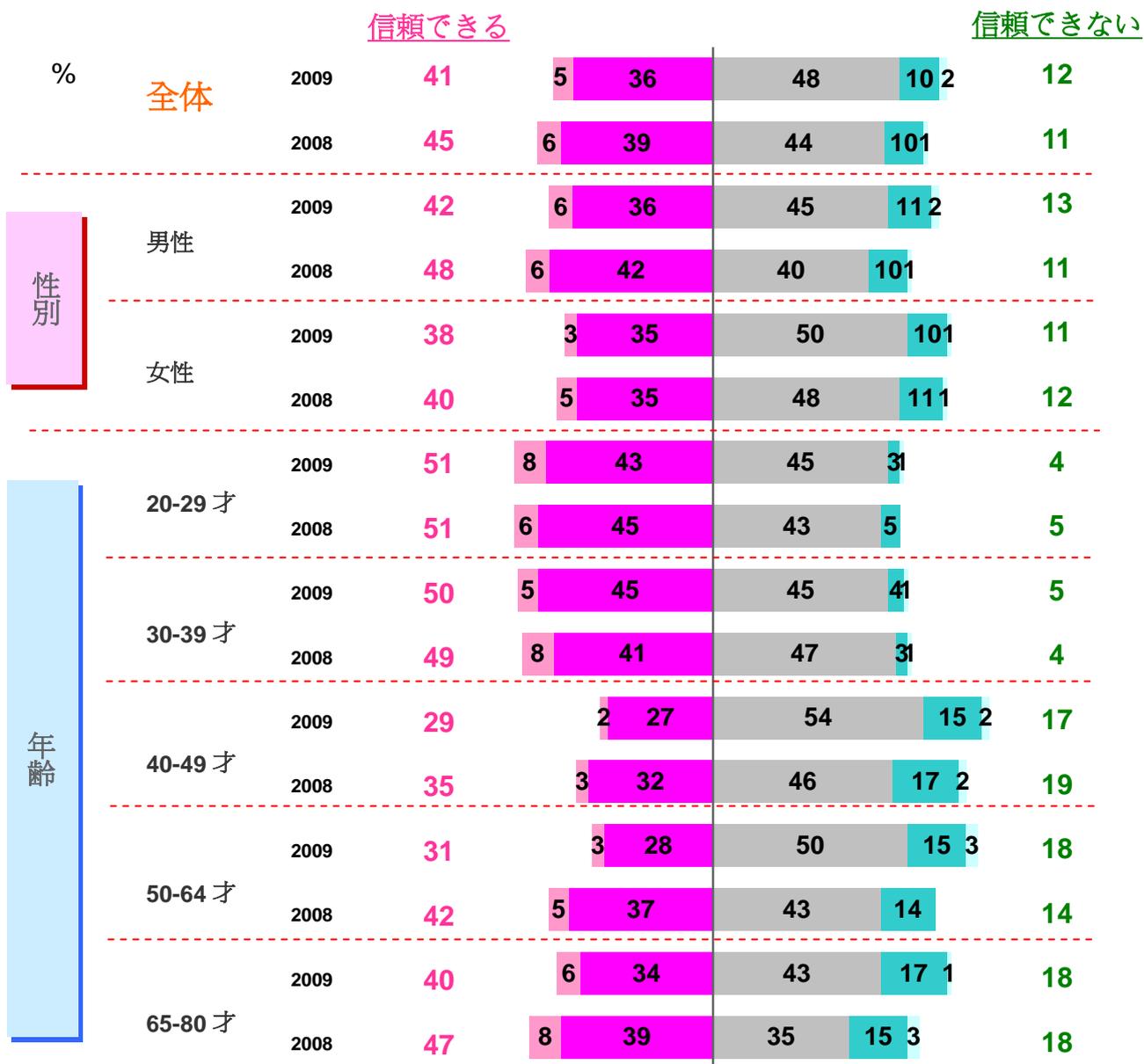
■ 大変よい
 ■ よい
 ■ どちらとも言えない
 ■ 悪い
 ■ 大変悪い



Q12: 日本は信頼できる国と考えますか？

(I)

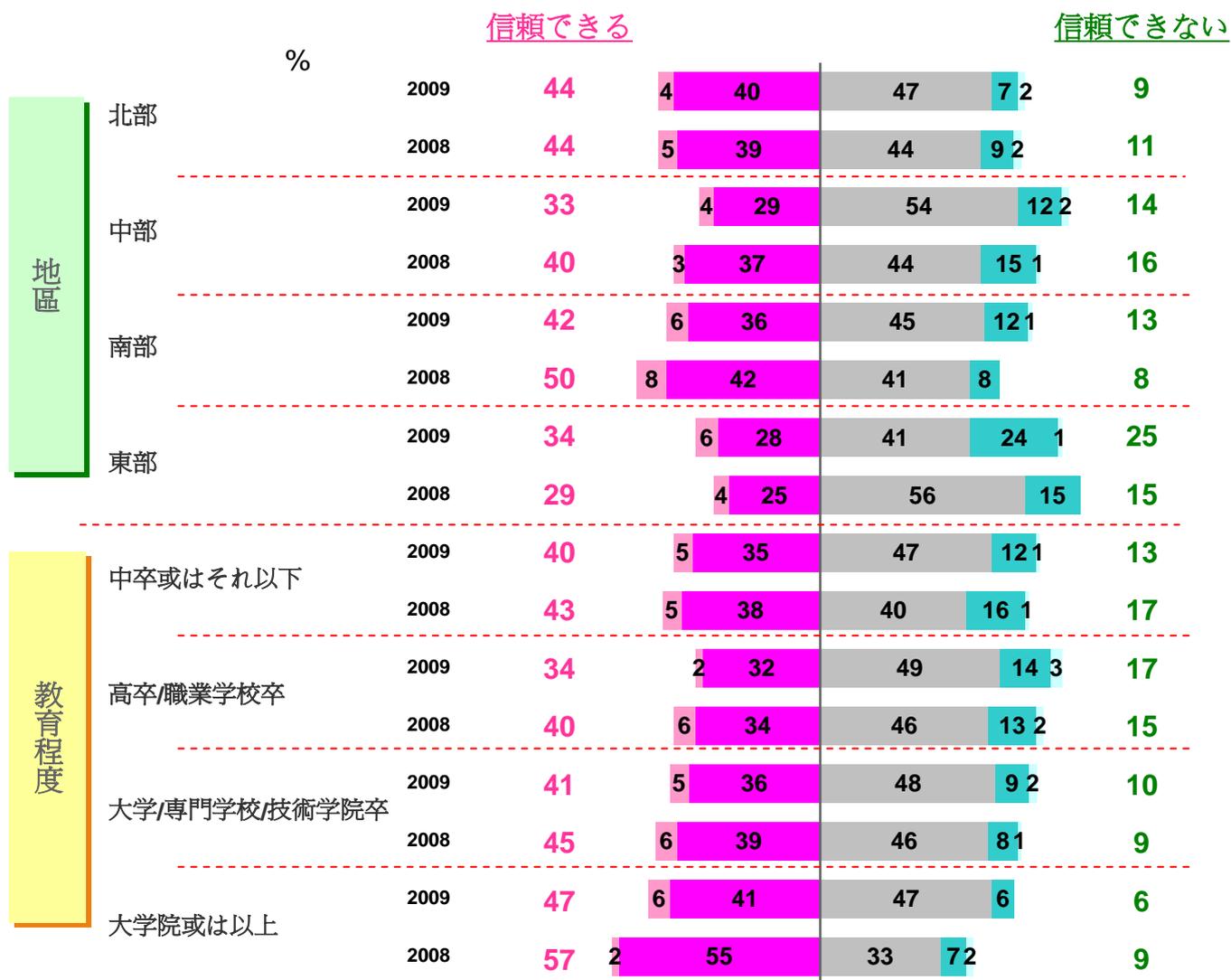
■ 非常に信頼できる ■ 信頼できる ■ 分からない ■ 信頼できない ■ 非常に信頼できない



Q12: 日本は信頼できる国と考えますか?

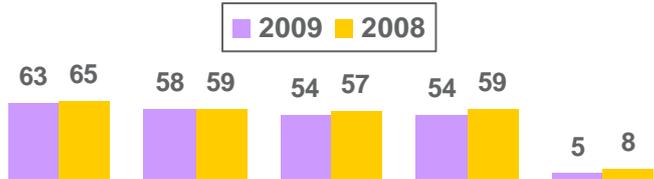
(II)

■ 非常に信頼できる ■ 信頼できる ■ 分からない ■ 信頼できない ■ 非常に信頼できない



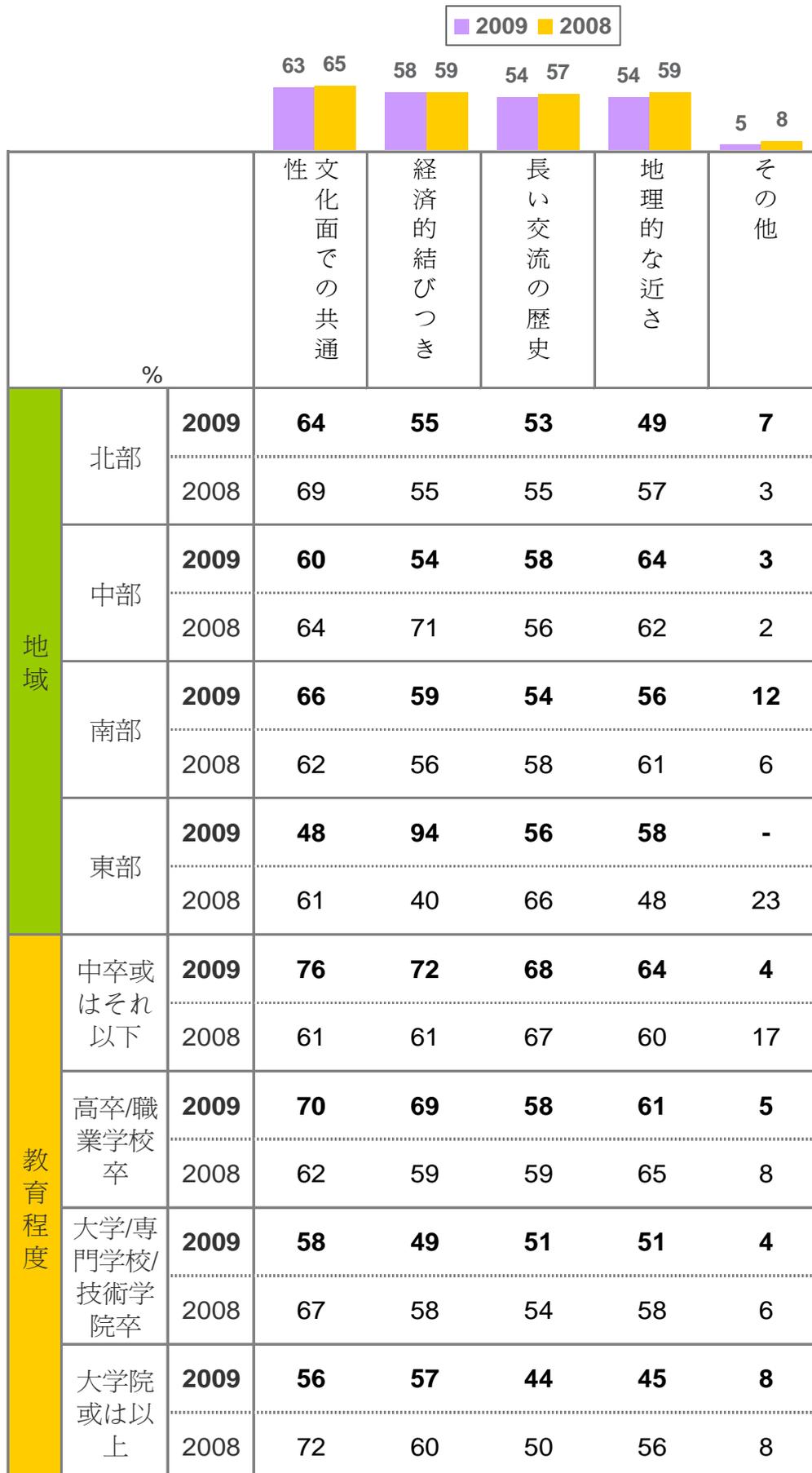
Q13: なぜそう考えますか？(Q12を「非常に信頼できる」又は「信頼できる」と回答した人のみ回答)(複数回答可)

(I)

							
%			性文化面での共通	経済的結びつき	長い交流の歴史	地理的な近さ	その他
性別	男性	2009	62	64	60	55	3
		2008	61	61	58	61	9
	女性	2009	65	51	48	54	7
		2008	70	56	56	57	7
年齢	20-29才	2009	55	49	41	43	3
		2008	61	53	48	57	3
	30-39才	2009	54	42	50	45	1
		2008	65	55	48	48	5
	40-49才	2009	73	70	59	69	14
		2008	61	61	60	71	9
	50-64才	2009	78	77	67	68	4
		2008	71	68	71	66	17
	65-80才	2009	64	65	72	62	7
		2008	71	58	65	58	10

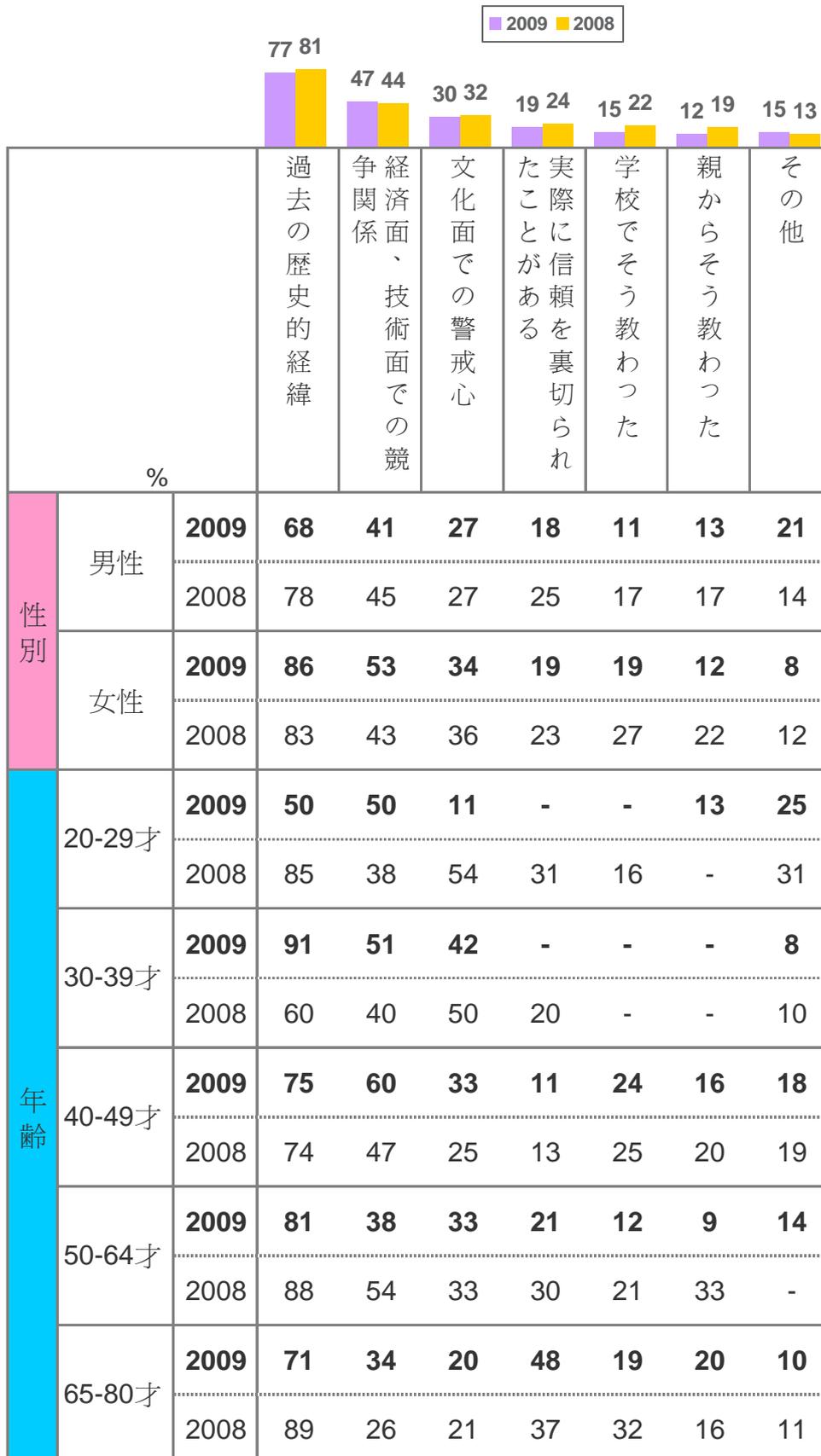
Q13: なぜそう考えますか？(Q12を「非常に信頼できる」又は「信頼できる」と回答した人のみ回答)(複数回答可)

(II)



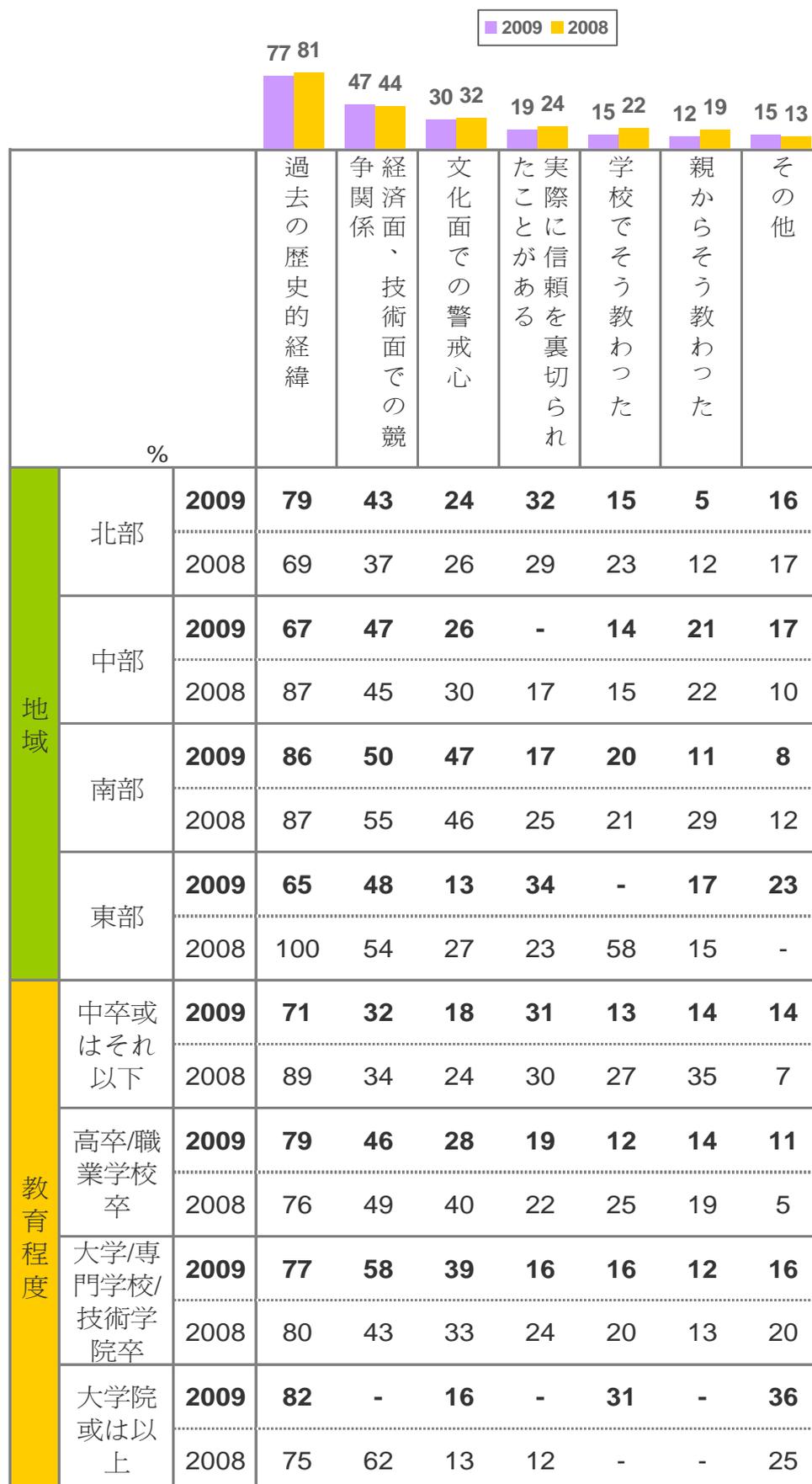
Q14: なぜそう考えますか？(Q12を「信頼できない」又は「非常に信頼できない」と回答した人のみ回答)(複数回答可)

(I)



Q14: なぜそう考えますか？(Q12を「信頼できない」又は「非常に信頼できない」と回答した人のみ回答)(複数回答可)

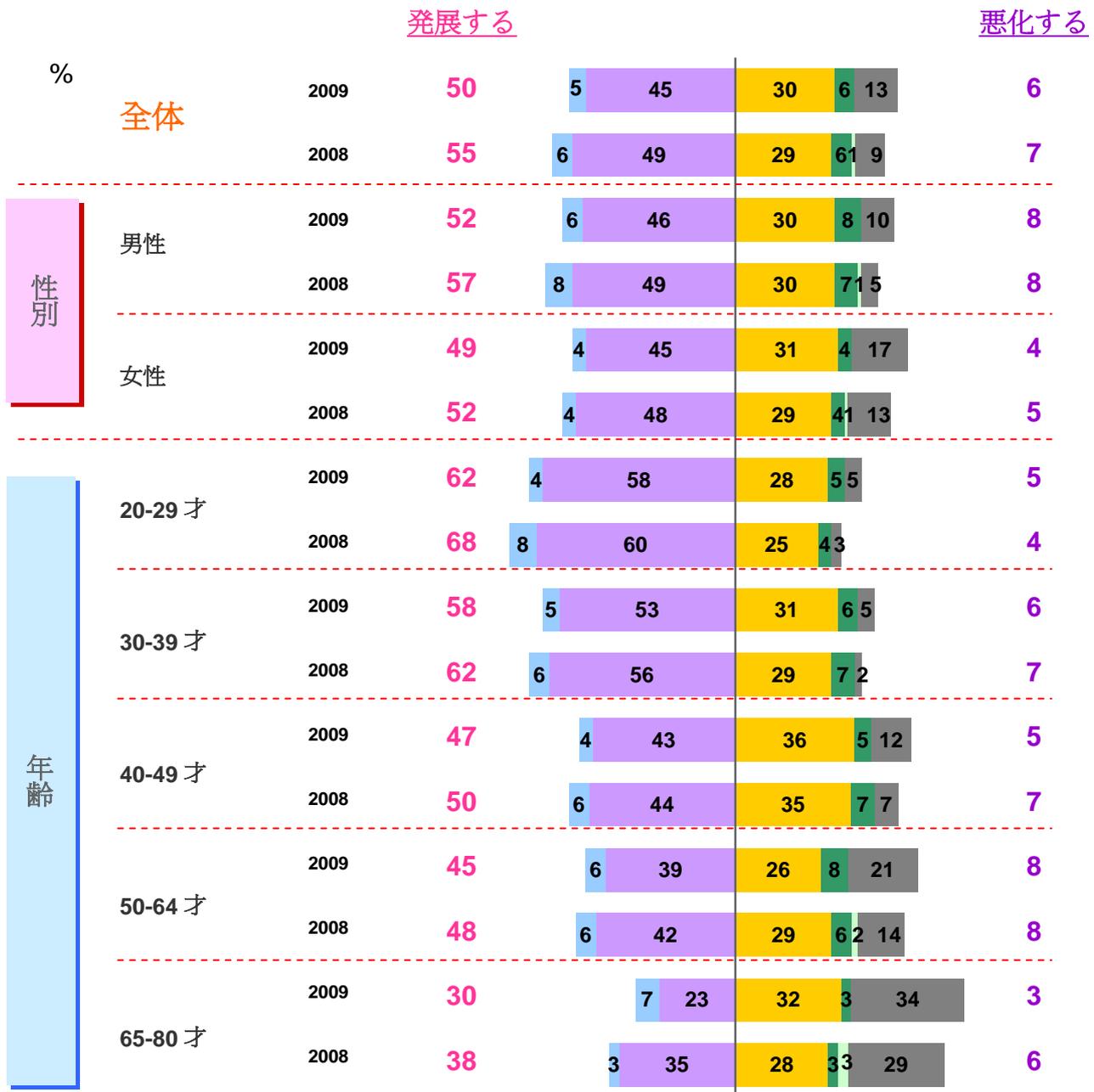
(II)



Q15: 日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか？

(I)

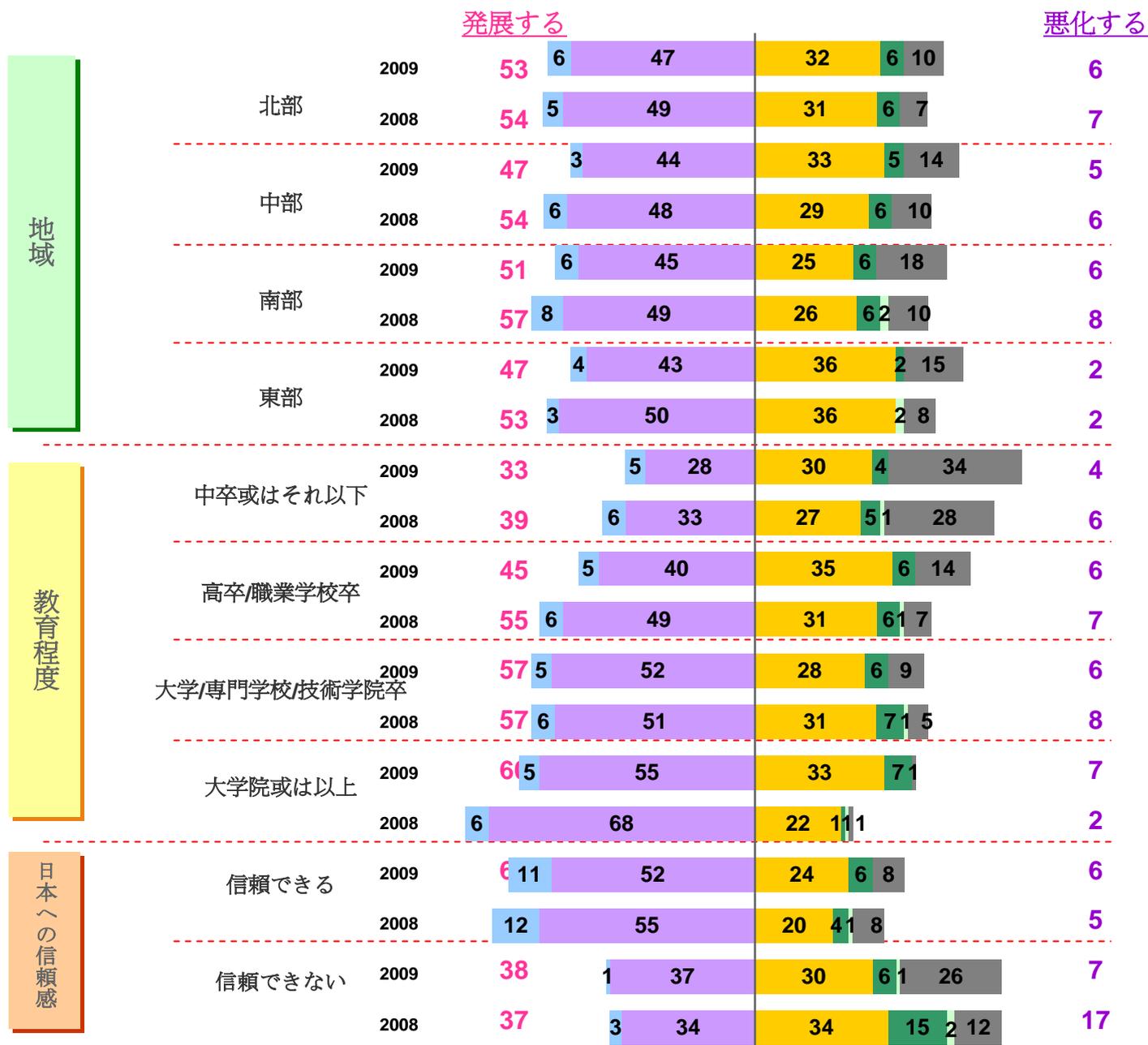
- 大きく発展する    ■ ある程度発展する    ■ 変わらない
- ある程度悪化する    ■ 大きく悪化する    ■ 分からない



Q15: 日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか？

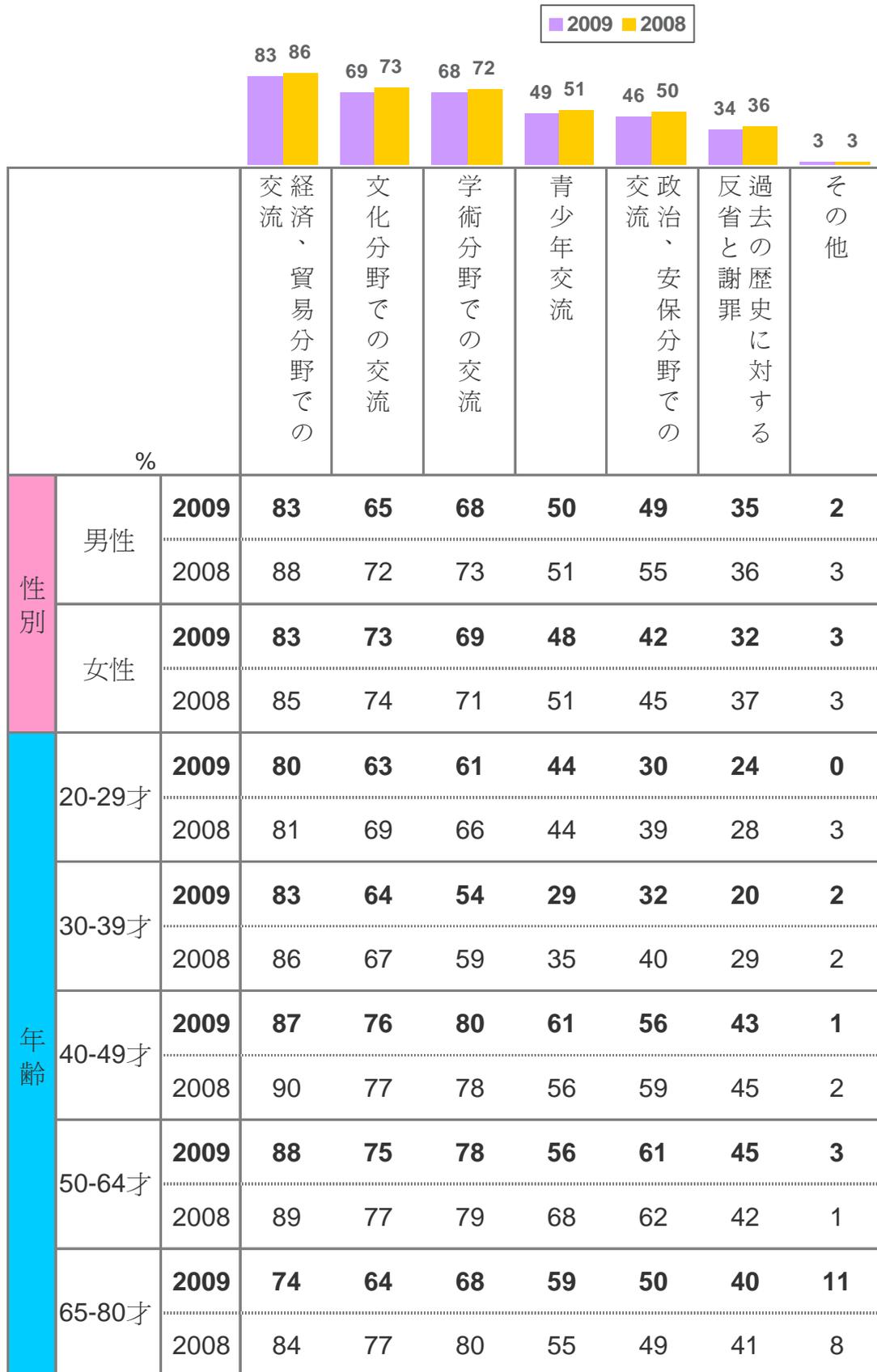
(II)

- 大きく発展する    ■ ある程度発展する    ■ 変わらない
- ある程度悪化する    ■ 大きく悪化する    ■ 分からない

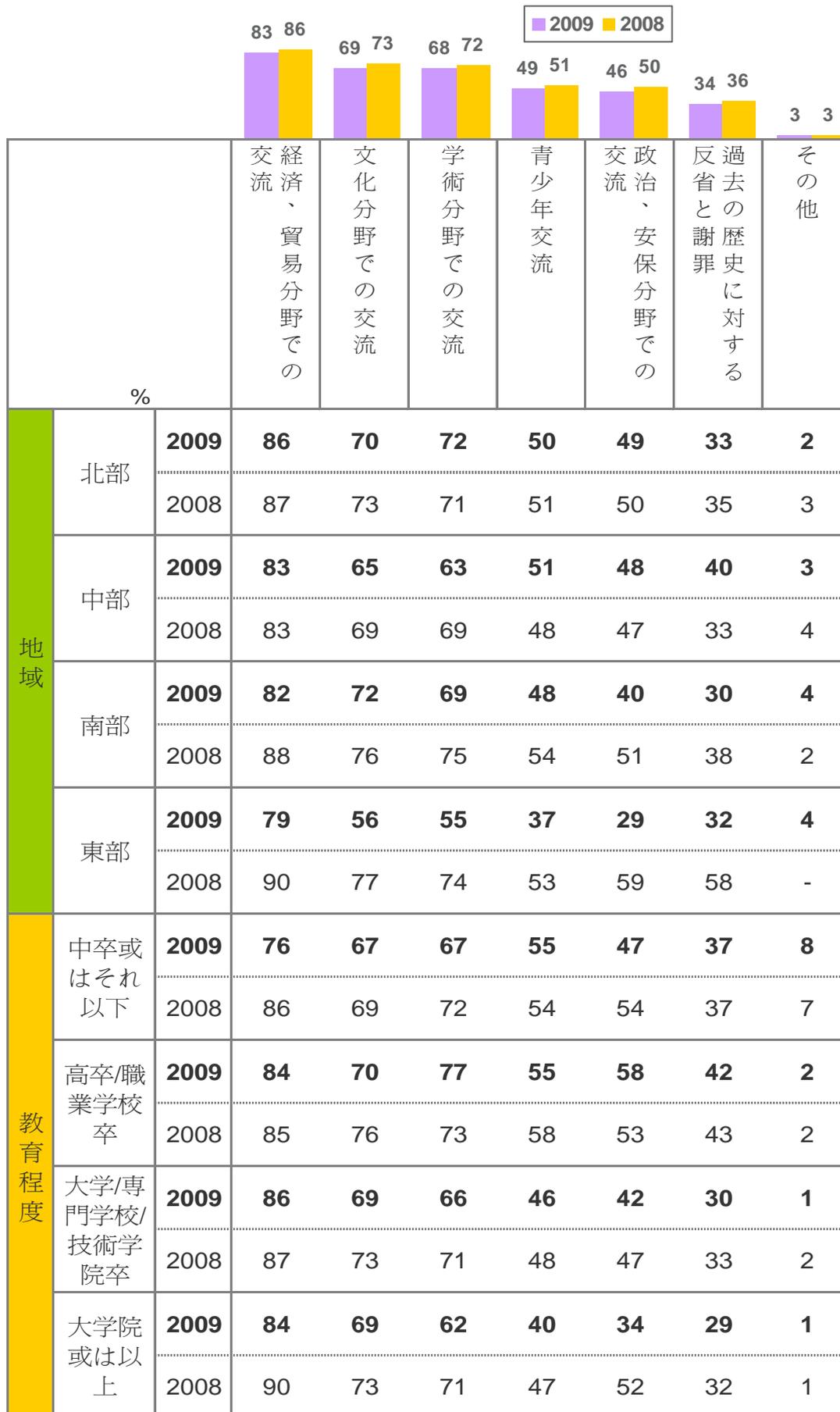


Q16: 日台関係発展のため、どの分野を積極的に推進するべきと考えますか? (複数回答可)

(I)

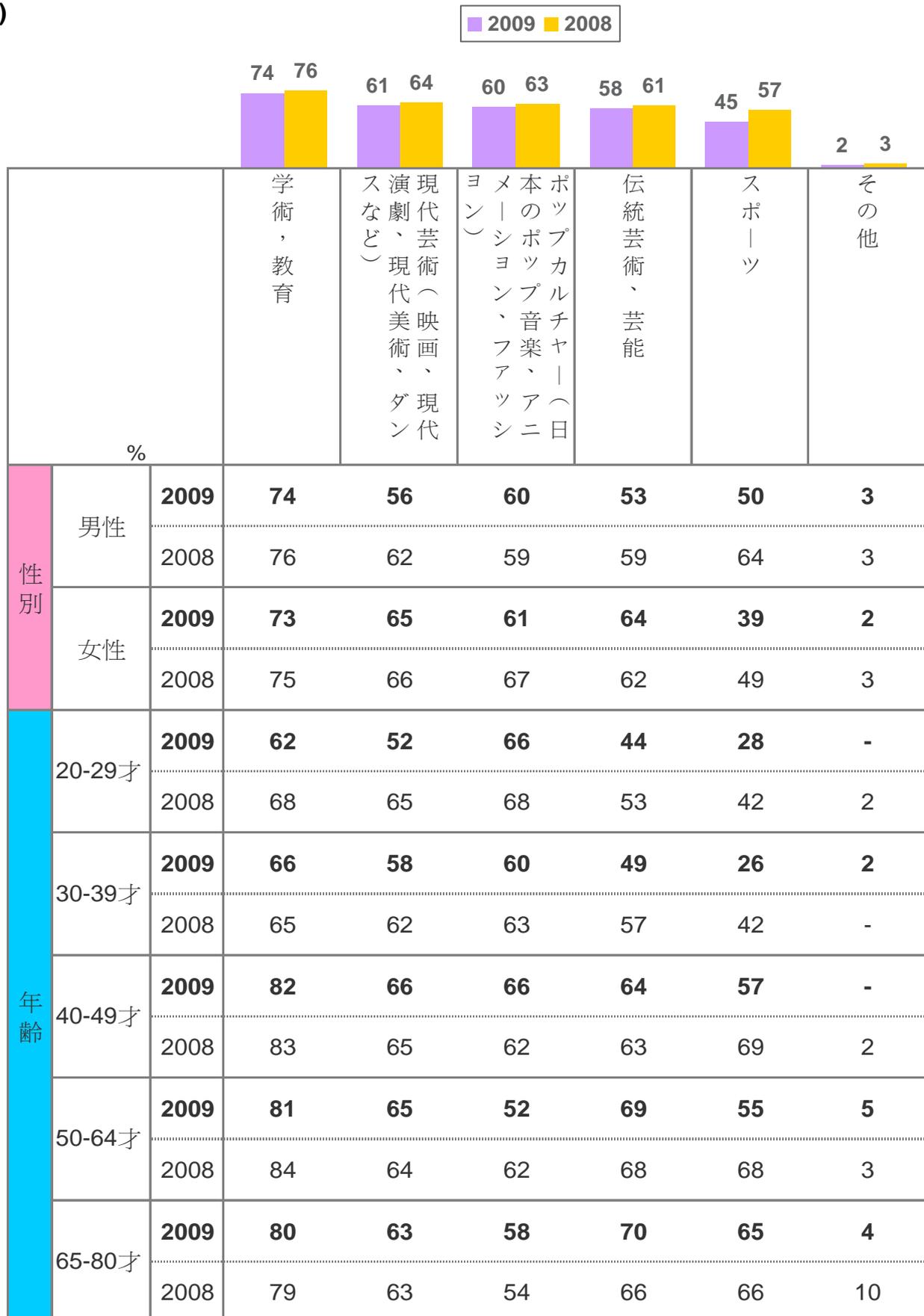


**Q16: 日台関係発展のため、どの分野を積極的に推進するべきと考えますか? (複数回答可)**  
**(II)**



Q17: 日台間の文化交流で、今後積極的に取り組むべき分野は以下のどれと考えますか？  
(複数回答可)

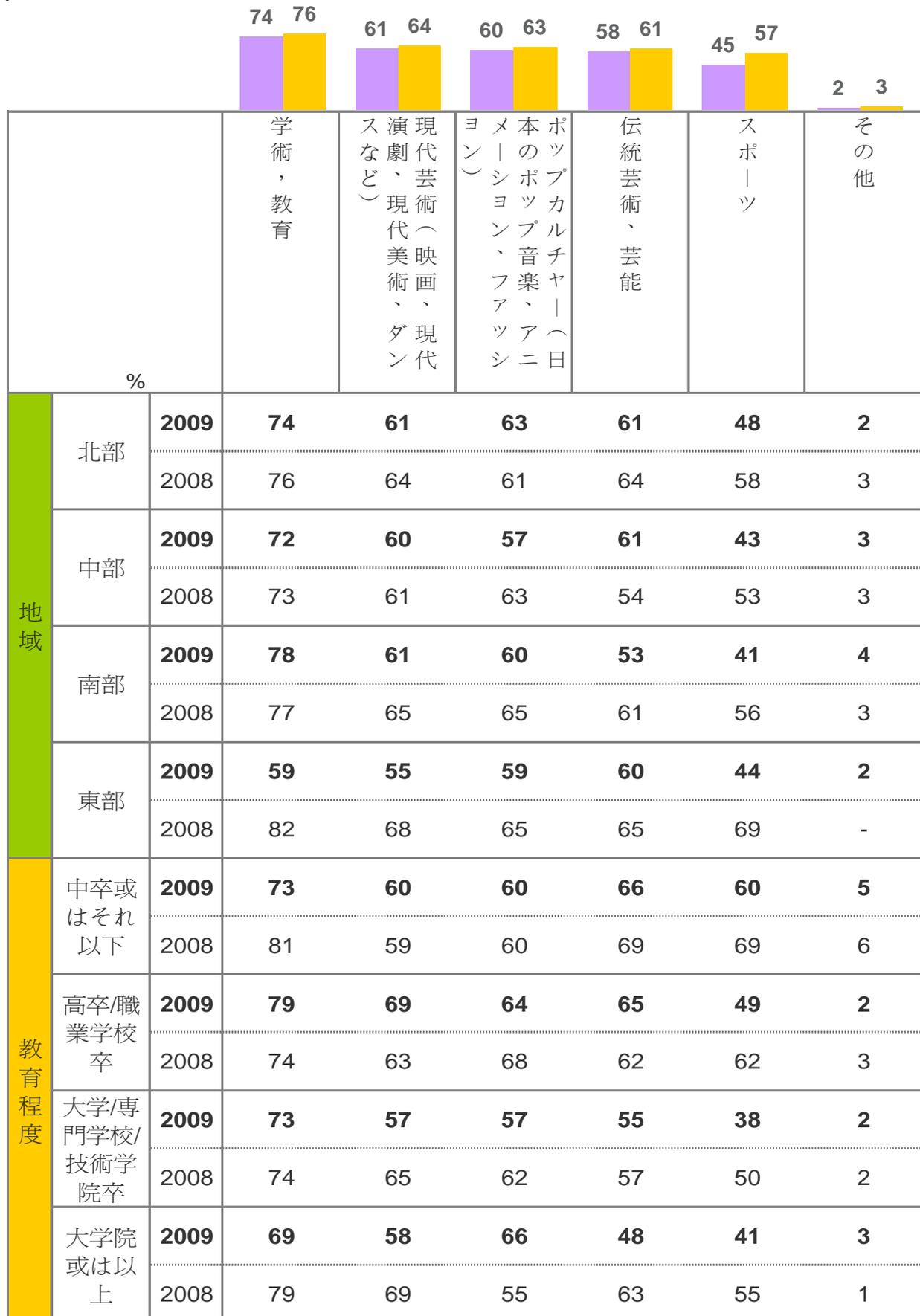
(I)



Q17: 日台間の文化交流で、今後積極的に取り組むべき分野は以下のどれと考えますか？  
(複数回答可)

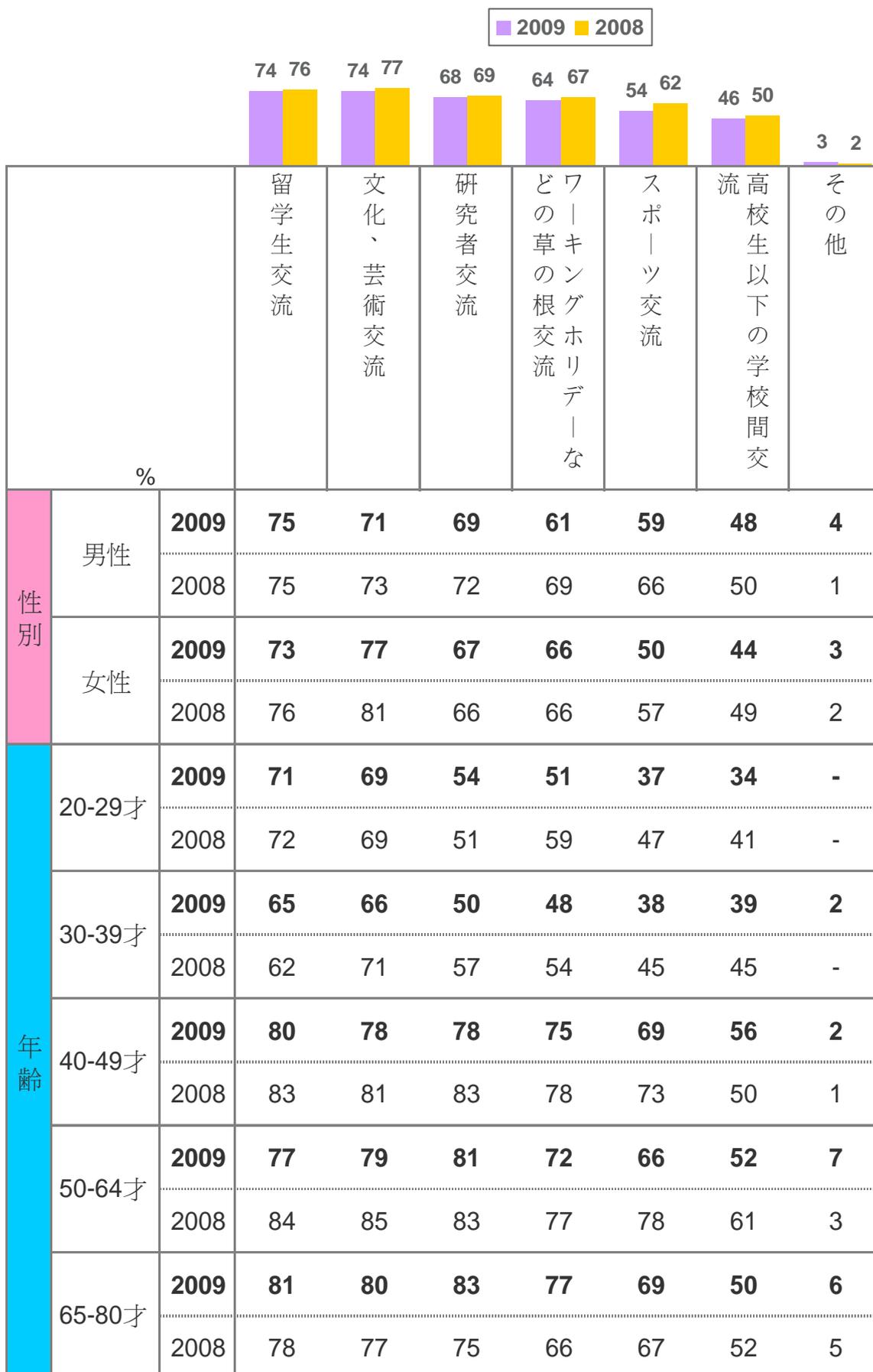
■ 2009 ■ 2008

(II)



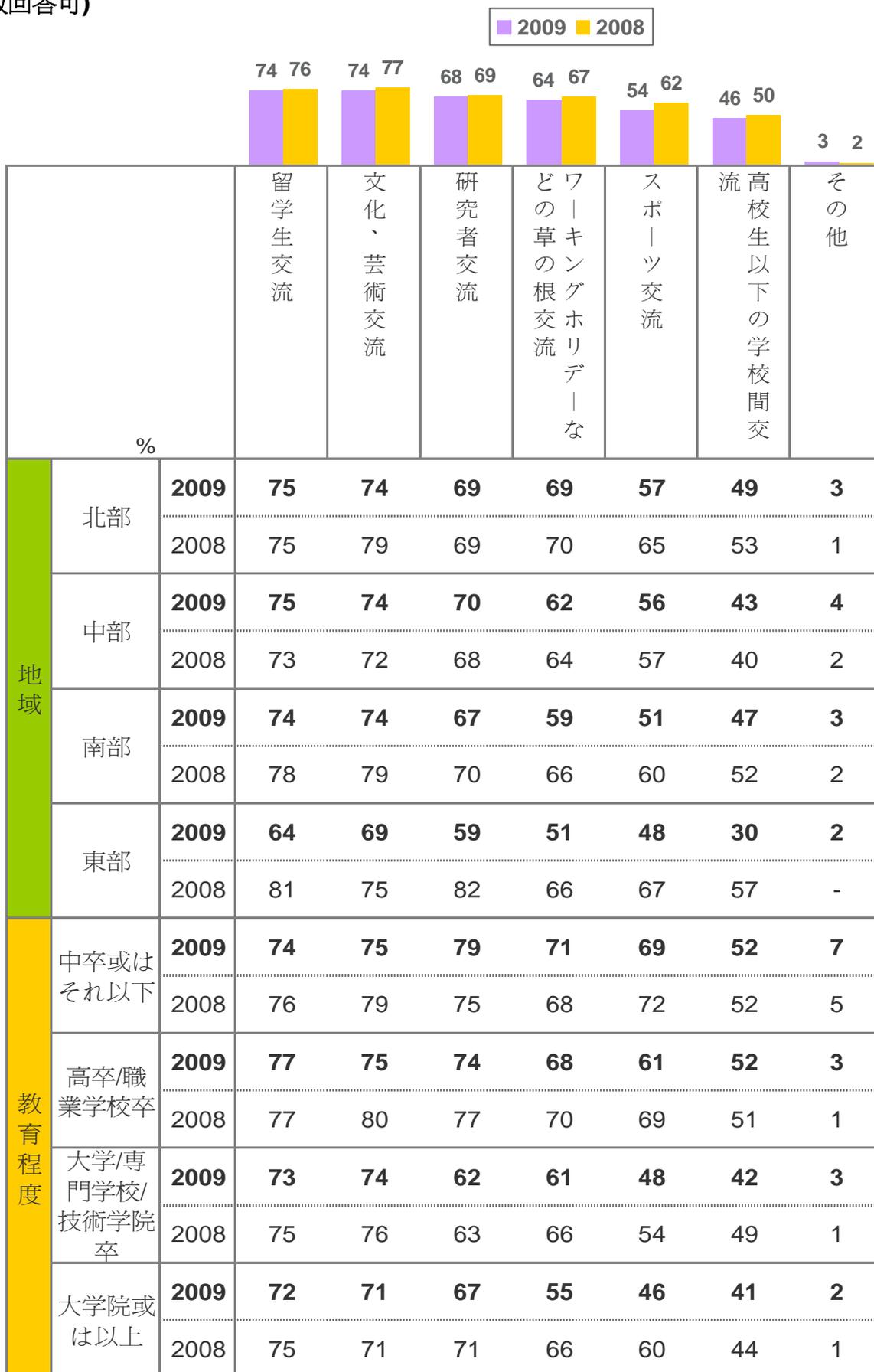
Q18: 日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に推進すべきだと思いますか？  
(複数回答可)

(I)



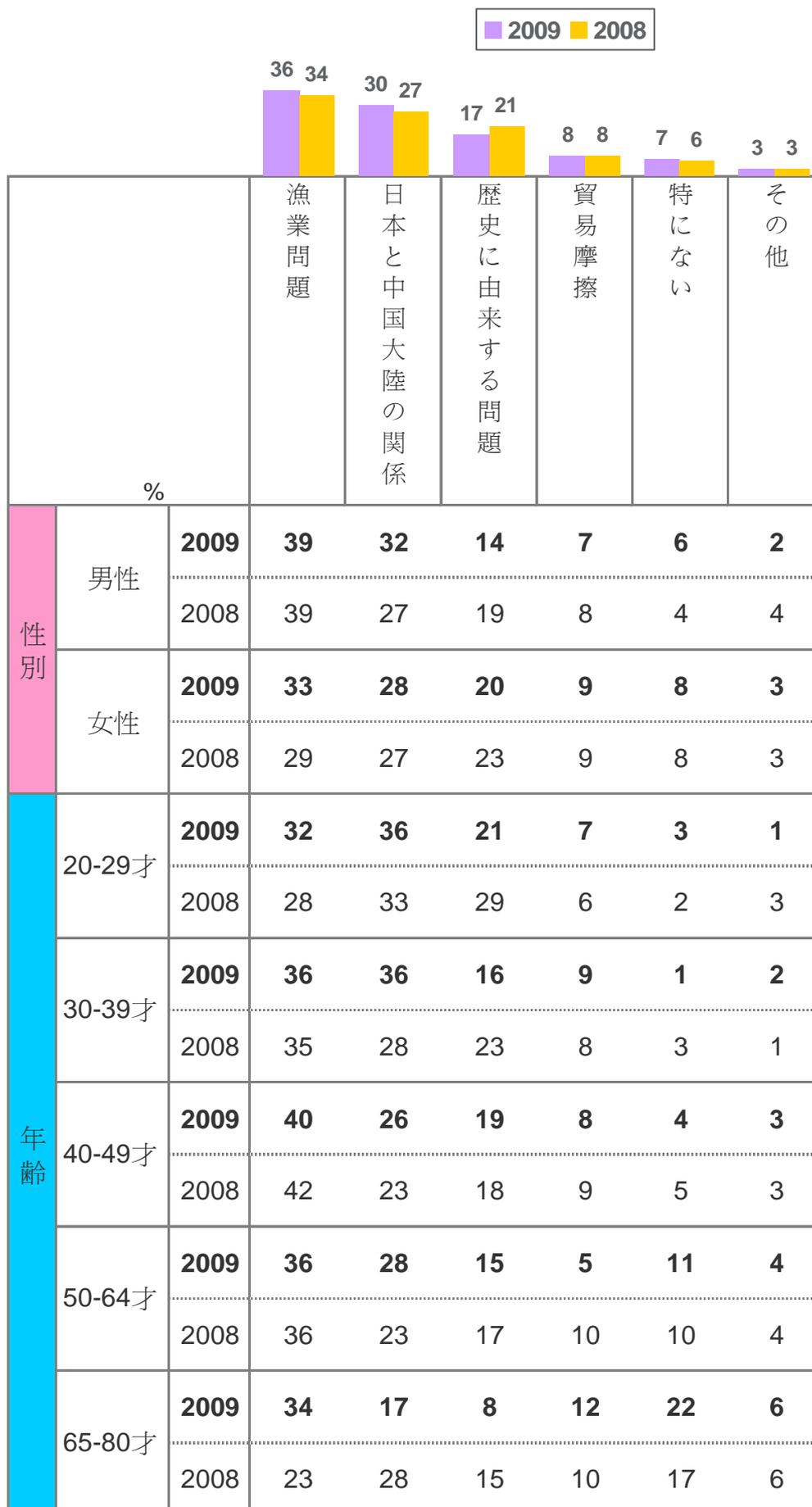
Q18: 日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に推進すべきだと思いますか？  
(複数回答可)

(II)



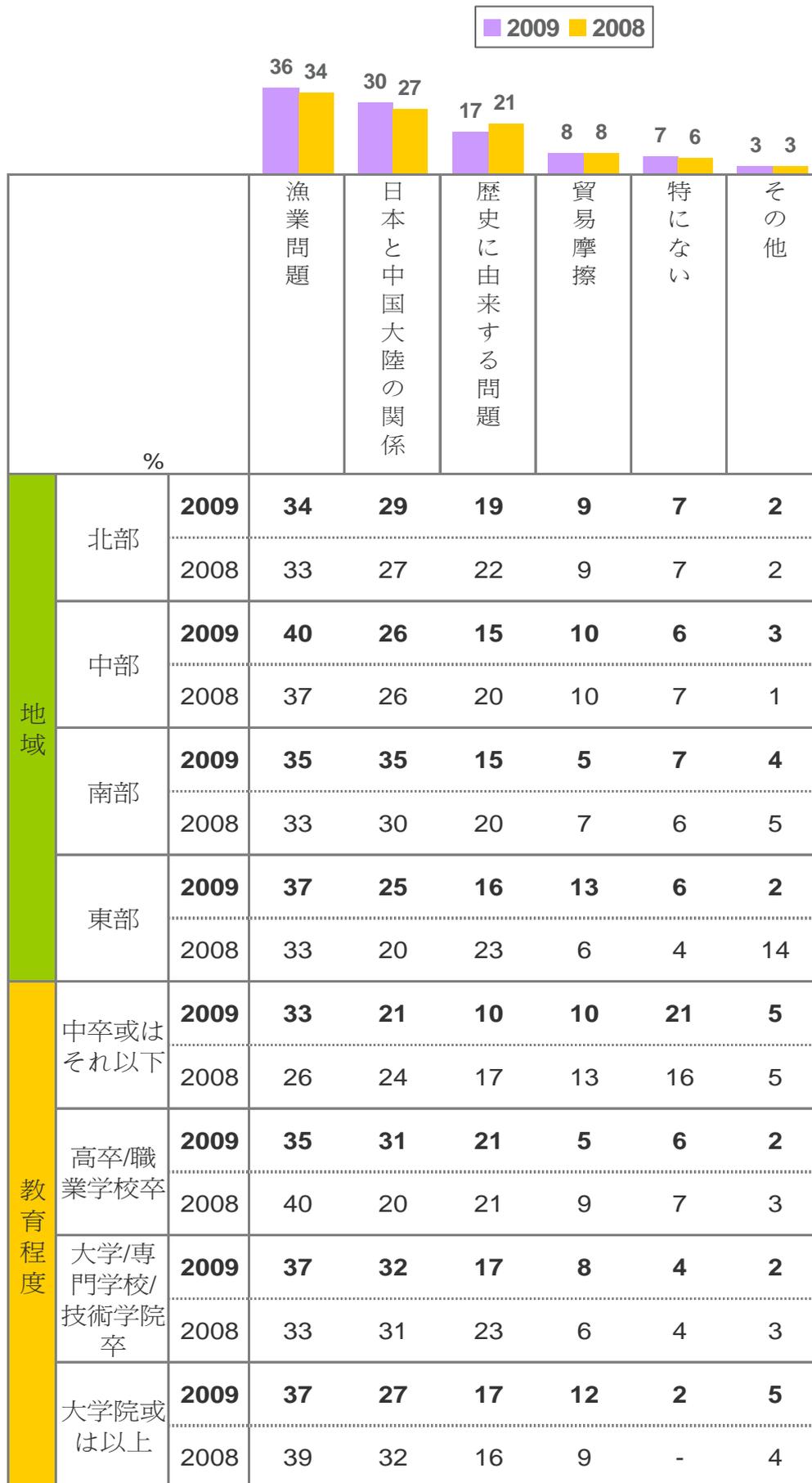
Q19: 日台間で最も心配に感じている案件は以下のどれですか？

(I)



Q19: 日台間で最も心配に感じている案件は以下のどれですか？

(II)



Q20: 今後の日本と台湾の関係は、どのようになって欲しいと思いますか？

(I)

■ 2009 ■ 2008

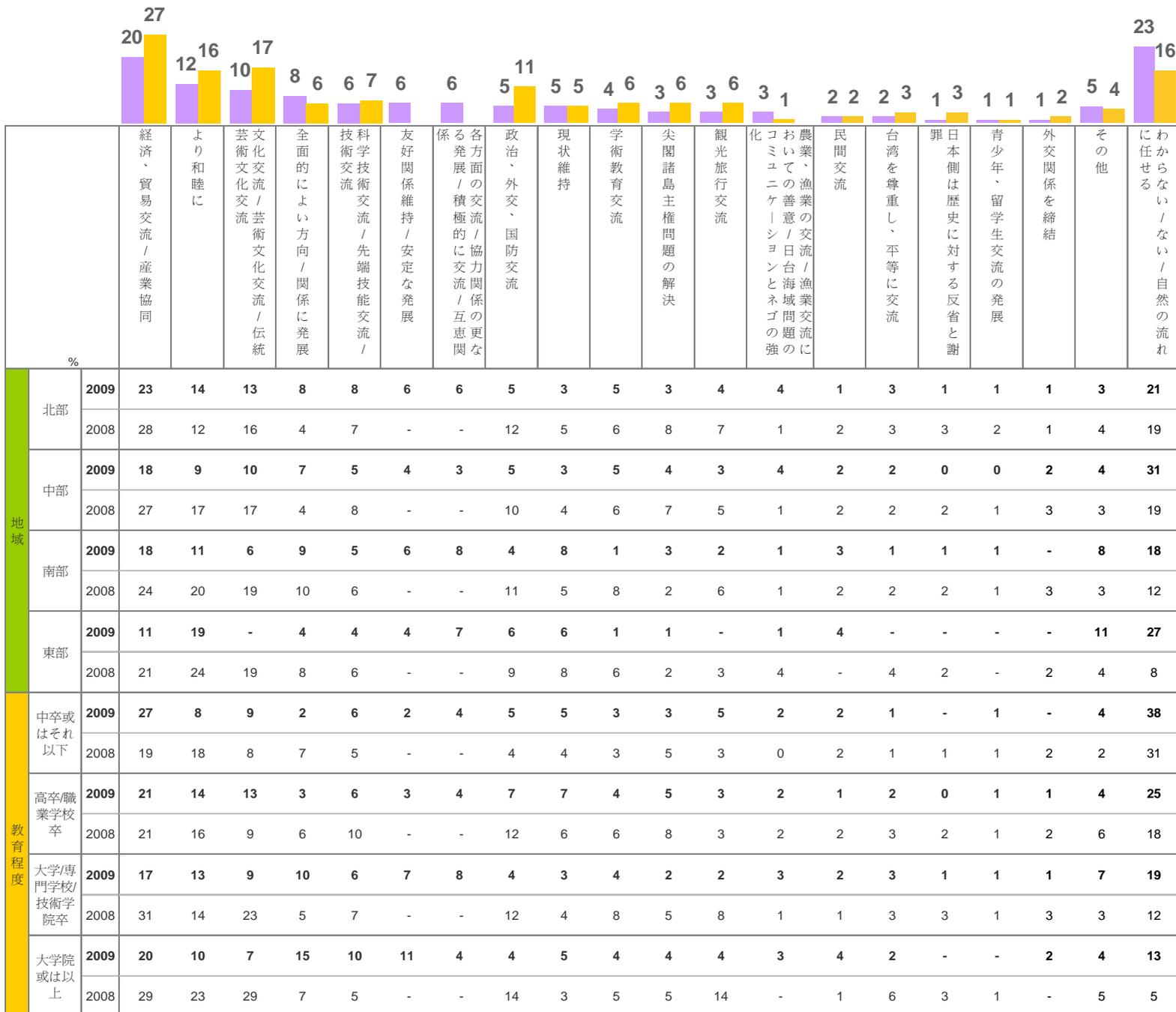


性別	年齢	%	回答内容																						
			経済・貿易交流/産業協同	より和睦に	文化交流/芸術文化交流/伝統	全面的により方向/関係に発展	技術交流	科学技術交流/先端技能交流/	友好関係維持/安定な発展	係る発展/積極的に交流/互恵関係	各方面の交流/協力関係の更なる発展	政治、外交、国防交流	現状維持	学術教育交流	尖閣諸島主権問題の解決	観光旅行交流	化	コミュニケーションとネゴの強	おいての善意/日台海域問題に	農業、漁業の交流/漁業交流に	民間交流	台湾を尊重し、平等に交流	罪	日本側は歴史に対する反省と謝	青少年、留学生交流の発展
男性	20-29才	2009	22	11	8	8	7	6	7	7	4	4	4	2	3	2	2	0	0	1	6	18			
	2008	29	14	17	8	8	-	-	12	4	6	7	6	2	2	3	3	1	2	3	14				
女性	20-29才	2009	18	14	11	7	6	5	5	2	5	4	3	4	2	2	3	1	1	1	4	28			
	2008	24	18	18	4	6	-	-	9	6	7	4	7	0	1	2	2	1	2	4	19				
20-29才	2009	14	13	6	19	5	4	10	0	4	4	1	2	2	-	1	-	0	3	7	19				
	2008	28	16	22	6	7	-	-	9	3	8	5	9	1	0	3	3	1	4	3	9				
30-39才	2009	12	18	6	10	5	10	8	2	2	2	2	2	0	0	2	0	0	1	6	19				
	2008	26	18	25	6	7	-	-	9	4	7	3	11	2	1	4	2	0	2	2	13				
40-49才	2009	27	11	12	3	8	4	3	8	6	4	6	4	4	2	4	0	1	0	4	24				
	2008	28	13	12	6	6	-	-	15	7	4	8	4	1	2	2	4	0	2	4	19				
50-64才	2009	26	10	13	2	7	4	5	8	5	5	4	4	4	5	3	2	1	1	6	22				
	2008	26	18	13	6	7	-	-	12	4	8	7	3	1	3	2	2	2	2	6	17				
65-80才	2009	16	8	11	3	7	4	4	6	7	4	1	2	4	-	1	-	1	-	2	36				
	2008	22	14	9	5	7	-	-	7	6	5	6	3	-	4	4	-	3	1	5	29				

Q20: 今後の日本と台湾の関係は、どのようになって欲しいと思いますか？

(II)

■ 2009 ■ 2008



## 結論 - 対日世論、日本のイメージ

- 半数以上(**52%**)の台湾人は日本が一番好きな国だと回答した。そのうち、39才以下の層で日本が好きだと回答した人は減少し、40才以上の層では増加している。そのほか、中国に対しては、好きな国というより親しむべき国だと認識しているようだ(**33%**)。その次に親しむべき国は日本の**31%**とアメリカの**16%**。前年度の調査結果とは大して差はない。
- 全体的には、**62%**の人は日本に“親近感”を持っている。年齢層別で見ると、「日本が好き」、「日本に親しみを感じる」と回答した人は40才以下の層が主である。そのほか、大学／専門学校以上の学歴を持つ人は日本への親近感が強い。しかし、日本に親近感を感じる人の比率は去年より減っていて、性別では男性が、年齢層で見ると**50-64**才の年齢層で減少。
- **2008**年の調査結果とほぼ同じのように、女性は日本の自然、風土に最も興味があり、男性は日本の科学技術に憧れるとの調査結果。年齢層別で見ると、**40**才以下の層は日本のポップカルチャーに最も興味がある。**40**才以上は日本の自然、風土及び科学技術に最も興味がある。なお、スポーツ関係は各年齢層とも関心がなくなる傾向。
- 八割くらいの方は日本は経済力と技術力が高い国だと思っている。その中で、男性の割合が高い。一方、中高年層は一般的には日本は自然の美しい国だと思っている。前年度と比べると、日本はクールでファッションナブルな国だと思う人は減っている。

## 結論 - 日本旅行、日本関連情報の情報源

- **90%**の方は日本は魅力的で旅行に行きたいと思っている。さらに**44%**の方は一番旅行に行きたい国は日本だと回答している。年齢層から見ると、**40**才以下の層は日本への旅行を比較的に好んでいる。そして、大学／専門学校以上の学歴を持つ人は、比較的に関心が高く、旅行に行きたい意欲も割と高い。
- 特に40才以上の層では日本に行きたい主な理由は自然環境と温泉、祭り等の地方文化だと回答している。女性は買い物に対して男性より大きな興味を示す。男性は比較的に関心が高い商品とスポーツ関係に関心がある。この2年の調査結果を比較すると、日本料理の魅力は弱まっている。
- 主な日本関連情報の情報源はテレビで、**41%**をしめる。そのうち、若い年齢層は特に高い割合を占める。テレビの次には、**40**才以下の青壮年はインターネットから、**40**才以上の中高年齢層は雑誌と自らの訪日体験から情報を得ている。
- 財団法人交流協会の知名度は去年より**11%減(52%)**。そして多くの人は協会の役割をよく知らないようだ。知名度は若い年齢層(**40**才以下)と北部の住民には比較的に関心が高い。

## 結論 - 日台関係全般

- 去年の結果と大して差はない。約**30%**の方は日台の関係は友好的であると思っている。しかし、日本は信頼できる国だと思う人は**4%減の40%**となった。主な原因は**50**才以上の層の変化による。日台関係の発展を楽観的に見る人の割合は前年度より減少して**50%**となった。総じて**40**才以下の青壮年層は日台関係をポジティブに考えている。

- 日本は信頼できる国だとする主な理由は文化の共通性。信頼できると回答した比率は女性の方が男性よりも高い。そして、**50**才以上の層は日本と台湾の文化面の共通性と経済面のつながりをより認識している。日本を信頼できない主な理由は去年と同じで、過去の歴史的経緯が理由。
- 一般の人は経済、貿易の交流は推進すべきと回答している(**83%**)。文化交流においては最も推進すべきなのは学術、教育(**74%**)。青少年交流においては、最も推進すべきなのは文化、芸術、留学生交流(**74%**)。この2年の結果を比較すると、スポーツ交流の割合が減少している。
- この2年の結果を比較すると、一番心配される日台の問題は漁業問題(**36%**)、その次は日本と中国の関係(**30%**)。また、将来の日台関係については経済、貿易分野での交流が最も関心を集めている。(完)